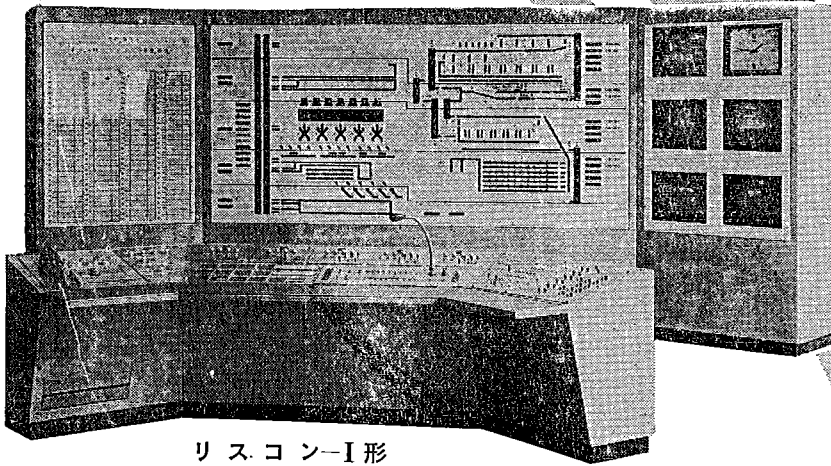


Osaki

営業品目

普通電力計	電流量計	電流制限器
精密電力計	電線用しゃ断器	配線用しゃ断器
誘導形自動電圧調整器	配電盤・分電盤	制御器
静止形自動電圧調整器	試験用変圧器	各種開閉器
配電線事故捜査装置	各種開閉器	しゃ断器
需要電力遠隔測定装置	数字式テレメータ	データロガー
電力需給用計器	標準用計器	用変成器



リスコン-I形



大崎電気工業株式会社

本社及び	141 東京都品川区東五反田2の2の7	電話 (03)443-7171(大代表)
五反田工場	電信略号 シナガワ」デンキ	
蒲田工場	144 東京都大田区多摩川2の8の1	電話 (03)759-6511(代表)
埼玉工場	354 埼玉県入間郡三芳町藤久保58	電話 (0492) 58-1205(代表)

## 道へのムン

ムンヘンを目指す候補選手25名が決定した。アジア予選を勝ちぬいた16名に学生を主体とした若手9名が加わり、25名となった。

この25名がこれから、7ヶ月の間に強化を重ねムンヘンでの上位入賞を狙うことになる。

アジア予選は結果的に見れば、快勝であったが、一つの試合の細かな局面々々をとれば、決してそう楽観できるものではなかった筈だ。

アジア予選を勝ちぬいた選手達また新たに加わった選手達もこのことは熟知している筈である。ムンヘンでは、まさにこの危ない局面の連続ということになる。気のぬける瞬間は全くないといっても良いであろう。

地理的にいって、対戦相手にもめぐまれない、本場のニュースからはるかに遠ざかっている我が国でヨーロッパ諸国のムンヘンをめざしての熱情を感じとれといってもムリかもしれない。

しかし、それを克服しなければ日本の上位進出はありえない。

今後の7ヶ月間、候補選手はまづ眼に見えない敵よりも、どんな苦境をもちあえず力強い意志と体力をもち合わせてほしいもの

だ。そして、ムンヘンの会場では、自分のもっている力を十二分に発揮できるといふ自信、決して過信ではない自信を養ってほしいものだ。

全国のファンがあれだけの声援をし、アジアの代表としての君たちを期待しているのだ。

選ばれたということ誇りにしこのファンの声援に応えるべく、十二分の心構えをもって、誰が見ても納得できる試合振りを個人としても、チームとしても、ムンヘンで見せて欲しいものだ。

ここでいきなり金メダルを力んでみても、カライバリにかならない。誰もが納得できる試合をすれば、金とは云わないまでも上位入賞は可能である。

体調を整え、今後の7ヶ月間に長所は伸ばし、短所は補ない、晴れのオリンピックで、多くの先輩たちが果せなかったオリンピックの試合に参加する榮譽を十分にのみしめ、精進してほしい。

日本のファン、アジアのファンが期待しているのは、ヨーロッパ以外のチームの上位進出である。

残念ながら、女子チームはその希望をかなえられなかった。世界選手権よりもオリンピックという晴れの舞台でそれをかなえて欲しい。それが世界のハンドボールをも発展させるのだ。(藤本)

## 時評

成長度が高まるにつれ新しい問題がおき、新しい発展がなされる。登録についてのもそれがいえるだろう。

昭和10年代は東西の大盟団体という資格が与えられていた。現規約で加盟団体といえは全日本学連、全国高体連、全日本実連、全日本教職員連、全自衛隊連の5大系統を指す。

組織や加盟団体の成長は、登録面でもさまざまな問題を提起している。特に社会人チームの構成について斯界ははっきりとした線がない。

実業団に関しては全日本実連にまかせ、クラブは各ブロックの見解をそのまま適用しているだけだ。全日本実業団選手権やクラブ大会などはそれでもよいだろうが、今後全日本総合選手権などで釈然としない問題が生じるのではなからうか。

例えば実業団(会社)に在籍しているいわゆる勤労学生が学連登録者であった場合、現実に会社と学校でハンドボール活動を両立させることは不可能に近いが規程上は「OK」。

またクラブの構成にもさまざま

なケースがある。学連や実連登録者を認めている地域もあるし、まったくそうした者を除外している地域もある。周囲の条件がからんで一線を引

きにくい難題ではあるが、この際大会毎に細則を成文化し、少くとも登録上でトラブルがおきないような手だてを講じるべきかも知れない。

しかし、万全を期しても、抜け道はどこかにある。規則ではあったがために内容低下も起こるだろう。

要はチーム側の「良識」にかかるとのことだ。現在、国体(一般)に学生の出場は男子は許されず、女子は1チーム3名までとされている。この場合の学生とは大学ハンドボール部員だけに留らず学生という身分を有する者すべてという注釈つきである。

なぜこうも厳しいのか。かつてある県が国体での成績を考えるあまりその春大学に進んだ学生を国体終了時まで因果をふくめてハンドボール部に入らせないでおい「事件」があったからだそう

だ。フェアをモットーにしたスポーツ団体にいくつも「規程」があるなどというのはあまり聞こえない話ではない話ではある。(X)

フット・ワークをスピーディにリードする  
特殊彫刻モールド底



ハンドベアー

¥1,500

神戸ベアー株式会社 東京



RED SOLE



このほか予選組とのレベル比較ナショナルプレイヤーとしての将来性などが検討資料にされた。

新候補のなかで興味深いのは学生界の主力8人が加わり、実業団選手は高梨一人に留った点だ。

実業団のスターはほとんどがすでにナショナル入りを果たしていることもあるが、質低下を云われながら学生界がいぜん「全日本の温床」として重きをなしているということにもなるだろう。

氷海に加えて佐藤要、荒井と学生界ビッグ・スリーの主将が揃ったのも話題。アジア予選直前に代表の座を逃した花輪のカムバックも目立つ。

佐々木、浅原のスピードとテクニクは定評があり、野田、大江、高梨、花輪らとともに「日本戦法」要員として貴重な存在だ。

松岡は大成が期待されている大型サウスポー。これで左腕は有永、新実、浅原、松岡と4人に増

えた。

GKも馬淵、高橋誠の加入で顔ぶれはいっそう多彩である。

### 目立つ明星高クワルテット

25人を眺めて華々しいのは氷海、荒井、高梨、佐々木と明星高(東京)出身者が並んだことである。同校は、41、42年インターハイ・国体連覇という偉業をとげており4人は当時の立役者。鳴りも入りで学生界、実業団界へ進んだ選手だ。

ちなみにこの4人のほか41、42年に高校界の檜舞台で活躍した選手を拾ってみると中井(伏見工、41年国体3位)、新実(42年国体2位)、大江(42年国体ベスト8)

をはじめ斉藤(富岡高、41年インターハイ)、有永(西宮東高、同)馬淵(同)、佐藤(42年同)、松岡(同)、花輪(同)と揃う。13人、半数以上である。

当時東西学生界のトップスター

## 「全日本中学」(仮称)今夏実施へ

日本協会は1月14日の月例常務理事会で各方面から熱望されていた「全日本中学校ハンドボール選手権大会(仮称)」を今夏8月愛知県下で開くことに内定した。

大会の詳細と正式決定は2月の全国会議(評議員会、理事会)で行われるが、早くとも48年度からとみられていた同大会を新年度実施に踏み切ったのは、アジア予選後、田村(会長)―荒川(理事長)ラインが打ち出した「底辺対策」と、地方関係者の積極的な声によるもので、中学問題検討委員会も大会開催の方向を確認している。

第1回大会は夏休み中の2日間を利用、出場チームはブロックを単位に男女各10、16チームの線に落ち着きそう。

の座にあった木野、近森、飯田が41年秋にナショナルプレイヤーとしてデビューしたのを考えあわせると「41、42年」がミュンヘンに興味深い符號となっていることに気づく。

なお、近藤信行選手(大崎電気)の復帰は体力的な面で見送られた。

25人の選手は2月14日から大阪で最初の強化合宿を行い19日のTVMATCH(別掲)に出場、日本協会では3月末に15、20人程度に絞り、このメンバーを「47年度ナショナルチーム」とする予定だ。

新チームのデビューは4月のGW・ダンケルセン(西ドイツ)戦になるだろう(別掲)

### コーチ陣に村田弘氏ら

コーチ陣については日本協会では、いちぢオリンピック対策部は一任の方向でいたが、候補選手の数が25名に及んだためと見え

第1次(2月)、第2次(3月)の強化合宿は同部に2、3名のコーチを加えて行うこととし、1月14日の月例常務理事会で次の5氏を決めた。

▽第1・2次強化合宿コーチ 村田弘(日本協会オリンピック対策部長、アジア予選監督)、勝繁夫(日本協会技術指導部長)、渡辺慶寿(同普及部長)、竹野奉昭(同オリンピック対策委員、アジア予選コーチ)、北川勇喜(日本協会技術指導委員)

なお、一部手なおしが予想されたオリンピック対策部は当分のあいだ現行スタッフ4名(村田、竹野)強化担当、藤本、杉山(情報担当)のままで進む。

### 選手の競争、精進を期待

ところで栄光のオリンピック代表だが、JOCの派遣最終決定がおりぬ限り具体的な動きはできない。

現在はつきりしているのは選手は「47年度ナショナル」から選ばれることだけでコーチングスタッフを含めての人数などそれまでは「白紙」。

日本協会は貴重な強化期間とみて候補選手の激しい競争と精進を期待している。強化合宿は別掲のように2月以降7回(約60日)の予定だ。また一昨年好評だった「国内サーキット」の実施も考え

られている。

なお、オリンピック対策部では4、5月のあいだにヨーロッパ遠征を希望しているが、予算面での裏づけがカベとなっており、今後の日本協会首脳陣のかたが注目される。

### 強化合宿日程……

- ▽第1次 2月14、20日(大阪)
- ▽第2次 3月中旬(東京・自衛隊体育学校)予定)
- ▽第3次 4月上旬(未定)
- ▽第4次 5月12、25日(未定)
- ▽第5次 6月中旬(東京)
- ▽第6次 7月20、30日(東北地区)
- ▽第7次 8月3、10日(東京)

### 2月19日大阪で

### ワクナガと対戦

日本協会は毎日放送(大阪)の企画によるTVMATCH「オリンピック強化試合」を2月19日午後2時から大阪市中央体育館で行うと発表した。

同試合は、土曜ワイドスポーツ2月第3週として制作されるもので別掲のオリンピック候補とワクナガ薬品(大阪・全日本2位)が対戦する。木野、早川両選手はワクナガ側から出場の見込み。なお、この試合に先立って12時50分から大阪選抜軍とも試合する。

# 日本、6年の空白“ひびき”9位

第4回世間女子選手権は12月11日から19日までオランダ各地

の会場に9ヶ国が参加して開かれた。上位入賞を期待さ

れた日本はやはり6年にわたるブランクが影響、4戦1引き

分3敗という成績で9位に甘んじた。優勝は東ドイツ。

## 優勝は独 第4回世界女子選手権終わる

### 2戦とも後半にくずれる

#### 惜しまれる渡辺の負傷欠場

#### 予選リーグA組

第4回世界女子選手権は12月11日オランダで開幕、オープニングの日本×西ドイツ戦は千五百の観衆を集めたユトレヒト市のスポーツホールで行われた。審判はスモレンゴ、カルセンバーグ(ソビエト)。

西ドイツ 10(5-1-4) 7 日本

得点  
00001601220  
ゴール  
トドイードハッス  
ツアルトドイードハッス  
イウエル ナウツ  
ドヒツベン エラナル  
ツン エラナル  
西イ アメル  
【アメジキホレワハウク  
トル

GK FP

本 岡原尾水 野原田口宅毛  
日北小枝垂 米佐古島滝三三波  
【0000601000000000  
得点

○……西ドイツがたえず先行して

いたが日本もよく粘り、後半開始直後5-5に追いつき5-6、6-6と前半以上のせりあいになっ

た。しかし西ドイツは後半11分から5分間にかけてレイトウエスナー

を中心とした攻撃陣が一気にスパ  
ート、4点をもぎとり10-6と開  
き日本にとってこれが致命傷とな  
った。日本もそのあと垂水のゲッ  
トで7-10とし、なお反撃の氣勢  
を示したが、余裕のある西ドイツ  
はムリな攻撃は仕掛けず守りを固  
めて逃げ切った。

○……日本は西ドイツ転戦中に左  
腕、渡辺が左ヒザの軟骨裂傷を負  
ったまま回復せず、もう一人のア  
タッカー牧野も西ドイツの徹底  
なマークにあつて思うような動き  
が見られなかった。  
日本の速い動きを終始警戒して  
封じこんだ西ドイツの策戦勝ちで  
ある。

#### 後半、引きはなされる

第2戦・日本×デンマークは12  
月12日ロッテルダム市営体育館に  
千八百の観衆を集めて行われた  
審判はパーソン、デュウルセン  
(ポーランド)

デンマー 11(4-1-4) 7 日本

○……日本は特色であるスピーデ  
イナゲーム展開を見せたが、国際

得点  
0001110008100  
ルンセン  
クセン  
一ダセン  
マッス  
ンネン  
デン  
【アハ  
ラAL  
ラLL  
ラリ  
ラセル

GK FP

本 原岡尾水 野田尾口原毛  
日北枝三垂 牧島寺滝三佐  
【0000040011000100  
得点

ルールに対する不馴れから7本  
の7MT(うち6ゴール)をとら

れたほか、身長差の不利はおぎな  
うべくもなく惜敗した。

先取点は3分ラスムッセンがあ  
げ日本も7分の7MTを垂水が活  
かして追いついた。ところが日本  
は11、15、17分に7MTを課せら  
れいずれもラスムッセンがポイン  
ト、4-1と引きはなされた。

#### ○……日本はひるまず19分垂水、

21分島田のゲットのあと、ハーフ  
タイム直前垂水がゴール、同点と  
する粘りをみせた。

後半もデンマークが2分ラスム  
ッセンで5-4とすれば、日本も  
3分垂水がすかさず返し5-5、  
垂水×ラスムッセンの射ちあいは  
観衆を熱狂させた。

しかし、このあと日本はまたし  
ても連続して7MTによる失点で  
10分には9-5と差をつけられた

○……日本は7分牧野、20分古佐  
原がゲットしたが、疲れがのぞい  
て3点差までが精いっぱい、準決  
勝リーグへの資格を失った。

#### デンマーク、辛くも勝つ

第3戦、デンマーク×西ドイツ  
は12月13日ユトレヒトで行われ前  
半デンマークが波にのった攻撃で  
リードを奪ったが、後半にはいる  
と西ドイツが猛反撃、もつれた。

しかしデンマークは辛くも最少  
点差で勝ちA組1位を決めた。

デンマー 12(7-1-3) 11 西ドイツ

【A組後記】本場の動向を6年以  
上つかめなかった日本が、大会40  
日前に離日し、欧州5ヶ国を転戦  
した意欲が不幸にも、裏目にな  
ってしまった。

日本は各地で14戦のトライアル  
ゲームを行い12勝をあげたが、そ  
の間に日本の示したクイックプレ  
ーを同じ組の西ドイツ、デンマー  
クは充分「研究」したようだ。

キャリアの差がこの組の順位を  
決めた、といえるのではないかと。

山田監督は「前哨戦が多かった  
とは思えない。むしろ多くの収穫  
があった」と話していたが、たし  
かにルーミアアとの善戦(11月13  
日)など関係者の注目を集めるに  
充分だった。東欧諸国の強さは予  
想どおりだがデンマーク、西ドイ  
ツ、ノルウェー、日本らの実力は

伯仲している。

# 7位入賞も逃がす (11敗)

## 7、9位決定リーグ

7位から9位までを決めるリーグ戦は日本(A組)、ノルウェー(B組)、オランダ(C組)の3ヶ国によって12月15日からアルンヘルム市などで行われた。

第1日は12月15日ユトレヒト市のスポーツホールで日本ノルウェー戦を行った。審判IIブルンパウエル、ハイゼル(オーストリア)日 本 12(6)17 12 ノルウェー

得点 0080111100000  
原岡野 水田原尾口宅浦毛

GK 原岡野 水田原尾口宅浦毛  
FP 米 古島三枝

得点 002055000000  
北牧 垂島古島三枝

も2分、垂水(5分)ハル  
ボルセン(2分)

12(2) 7MT (2) 12

全日本女子選手団		【世】		【公】		【親】	
監督	山田 計 (49)	日本協会常務理事					
コーチ	宇津野年一 (48)	日本協会技術指導委員					
コーチ	井 薫 (34)	大洋デパート監督					
GK	小原 名苗 (23)	大洋デパート	0	0	0	0	0
	北岡 千賀 (23)	愛知教員ク	0	0	0	0	0
FP	枝尾 清女 (24)	大洋デパート	1	2	6	6	6
	三宅美智子 (24)	大洋デパート	0	0	1	1	1
	垂水 秀代 (23)	大洋デパート	21	10	32	32	32
	渡辺須和子 (23)	大洋デパート	1	24	42	42	42
	米 恵美子 (23)	大洋デパート	0	2	10	10	10
	滝口 治代 (22)	東京重機工業	4	0	5	5	5
	牧野 涼子 (22)	東京重機工業	0	4	7	38	38
	三毛 直子 (22)	田村紡	1	2	13	13	13
	寺尾由美子 (22)	大崎電気	0	0	7	7	7
	三浦 朝子 (21)	大崎電気	0	0	1	1	1
	島田 夏枝 (21)	大洋デパート	7	7	23	23	23
	古佐原ひろ子 (21)	東京重機工業	2	0	7	7	7
随行員	中川 葵	東急航空					
【世】は世界選手権4戦の得点		【公】は公式国際試合4戦の得点		【親】は国際親善試合10戦の得点			

### 後記 コーチ 井 薫

予選リーグ二試合に比べると日本も、本来の速い動きをとり戻し接戦となった。ノルウェーのエイズ、カーレンは1m87cmの長身で、どの国も彼女をマンツーマンでつぶす程の選手で、勿論日本もゲーム開始より徹底的にマーク、然しこの戦法に馴れているせい中央からのフリースローを多く狙われ、得意を許す、日本も垂水、牧野のロングジャンプシュート、更に島田の速攻及カットイン等で、迫力あるゲームを展開する。只GKからの速攻へのパスが、相手長身プレイヤーに何度かカットされるケースがあり、得点機を逸した事は惜まれるし、今後の外人相手の課題にも思える。12対12で迎えた後半、残り20秒で単独速攻のチャンスをつかみ、古佐原が果命にダッシュ、最後は突き飛ばされ乍らシュート、日本であれば当然7mのケースも、シュートをしてしまえば競技続行と判定する審判(選手権では、殆んどこの判定)でゲーム続行、そしてタイムアップ、世界選手権念願の一勝を目前に12対12で引き分けに終る。

### ノルウェー、7位を確保

第2日ノルウェー×オランダ戦は12月17日アルンヘルム市体育館で行われた。  
8(5)13 7 オランダ

### 渡辺、気力の7MT

第3日日本×オランダ戦は12月18日アルンヘルム市体育館で行われた。審判IIパーソン、デュウルセン(ポーランド)  
オランダ 13(7)11 日  
得点 002410300012  
ダニエルズ トルケクソン  
クレーン エンネ  
ンネレ ップアエディ  
ンネレ ドツイイデー  
ラー ドットイイル  
ンニルラ  
ミ  
【オマブカヘラメビギドアス

### 後記 コーチ 井 薫

この試合、2点差以上をつけて勝てば7位が確保できる。  
選手権最後のゲーム、開催国オランダと対戦のせいにか、凄い声援の中でゲーム開始。前半垂水のロングが良く決まり、更に20分に得た7mには膝の怪我で、選手権未出場の、渡辺を起用、彼女も期待に応えて得点、9対6で前半を終る。後半スタートより渡辺を出場させて幾つかの、フォーメーションを試みるが、二十日ぶりのコンビのせいか動きに精彩を欠き、その間にじりじりと反撃を許し、特に長身プレイヤーをポストに配

しての徹底した7mを狙う作戦に、遂に同点にされ、そしてリードされると云う、最悪のゲーム展開となる。この様な世界の舞台で然も地元相手には、3点のリード等、有って無い様なもの、勝負に對しての執念、根性で絶えず相手を制し、リードする事の大切さを痛感する。

### 日本の世界女子選手権成績

- ▼第2回大会(昭37・ルーマニア) 予選リーグB組
- ハンガリー 17-8 日 本
- デーマーク 12-7 日 本
- ▼7、9位決定リーグ
- ポーランド 16-10 日 本
- 西ドイツ 15-6 日 本
- 日本は9位
- ▼第3回大会(昭40・チェコ) 予選、西ドイツII本大会)
- チェコ 17-8 日 本
- チェコ 17-7 日 本
- ▼予選リーグA組
- 西ドイツ 15-5 日 本
- デンマーク 10-9 日 本
- ユーゴ 9-5 日 本
- ▼7、8位決定戦
- 日本 6-5 ポーランド
- 日本は8位
- ▼第4回大会(昭46・オランダ)
- 日本は9位II記録別掲
- ▼世界選手権における日本の通算成績 14戦1勝12敗1分。
- (注)日本は第1回大会には不参加

# 東ドイツ、ユーゴ破り優勝

ハンガリ 13位 東欧勢上位を占める

## 予選リーグ

◇B組

ユーゴ	14	(5-1-3)	7	ノルウェ
ルーマニ	8	(4-1-3)	6	ノルウェ
ユーゴ	12	(3-1-8)	12	ルーマニ

引き分け

○……予想どおりユーゴ、ルーマニアがノルウェーを降して勝ちあがった。

ユーゴはクネゼビクを中心とした攻撃力がすばらしいデキで最終戦も楽勝かみえたが、ルーマニアはバルコイアヌとアーギルのコンビががつづけさまに好シュートを決めてばん回、タイムアウトを直前逃げ切りをはかるユーゴをつかまえ引き分けた。

両国とも準決勝リーグで東ドイツとの対戦をさげようという思惑がからみ、そのためにはこの組の「1位」が必要とあってすさまじいばかりのぶつかり合いを見せた。

ノルウェーではエース・フラセツトの活躍が目立っていた。

## 東ドイツ、好調なスタート

◇C組

ハンガリ	12	(6-1-1)	3	オランダ
東ドイツ	15	(7-1-5)	8	オランダ
東ドイツ	9	(4-1-2)	8	ハンガリ

○……前回(一九六五)の女王ハンガリ、今回の優勝最有力候補東ドイツ、それに地元オランダの揃ったこの組はさすがに各試合とも満員のファンを集め熱狂した。やはりオランダの実力は一歩お

くれて2試合ともほとんど勝ちらしいものはなかった。

東ドイツ×ハンガリは壮烈な試合となり、「決勝」といってもさしつかえないほどであった。

東ドイツはホクムス、ハンガリはスターピンスキーと当代一流のポイントゲッターをようし、ともに当然の策戦としてディフェンスはこの二人のつぶし合いになっ

た。身長差に優るハンガリは、前半積極的なロング戦法が当たったが、後半になると東ドイツにその単調さをつかれ、思うように点を加えられなかった。そればかりか東ドイツのじわじわ攻めつける力を支え切れなくなり終盤に逆転を

許す結果となった。

## 準決勝リーグ

12月15、17日

ルーマニア、デンマークの善戦及ばず

◇I組

ルーマニ	11	(4-1-3)	11	デンマ
ルーマニ	7	(1-8)	11	ク

引き分け

○……エキサイトした好試合。特にデンマークは多彩な攻撃によって、試合を大いに盛りあげ、試合前の予想を裏切る健斗であった。

ルーマニアは鉄砲・バルコイアヌがこの試合でもデンマークのL・ニールセンを中心とした執拗なマークをはずして着々とポイントをあげた。

しかしデンマークもベテラン、A・ニールセン(編集部注、この選手は12年前の第2回大会から出場している)の活躍とGKダールの健斗で11-8とリードを奪い

、「番狂せか」とコートサイドを沸かせた。ルーマニアは残り10分から驚くべき粘りをみせ、23分10-11とせまったあとバルコイアヌが必死の同点シュートを決め、辛くも引き分けにもちこんだ。

東ドイツ 12 (7-1-7) 10 ルーマニ (5-1-3) 10

○……2度目の優勝を狙うルーマニアにとって最大の難関、その斗志がたえず先行する試合運びに実

ったが、後半になるとディフェンスの差があらわれ東ドイツが優勝へ大きく一歩前進した。

東ドイツ 12 (4-1-3) 7

○……勝負は後半にかかった。東ドイツが5-3とリードを奪った時は試合のペースを握るかにみえたがデンマークも反撃、5-5に追いついた。

しかしスタミナと強シューター揃いの東ドイツは、デンマークがわずかな疲れから動きが鈍くなるや着々ポイント8-5、9-6、12-7と開いて押し切った。

## 西ドイツの反専空し

◇2組

ユーゴ 11 (6-1-3) 8

○……ユーゴはトルティが西ドイツディフェンスの外側から強烈なシュートを打ちこんであっさり3-0。西ドイツは奮起していったんは3-3とタイにしたのだが、

その後再びユーゴの攻撃をうけて3点差を背負された。後半西ドイツは巧く試合を運んで6-7まで追いついたが、結局は前半の失点がひびいて敗れた。

ハンガリ 12 (7-1-4) 10

○……前半のリードをいかしたハンガリが後半も余裕のある試合ぶりで制勝した。西ドイツは前日同よう、相手にたえず先行を許し

## 歴代優勝国

- ① 一九五七年 チェコ
- ② 一九六二 ルーマニア
- ③ 一九六五 ハンガリ
- ④ 一九七一 東ドイツ

(注)一九六八年に予定されたモスクワ大会は流会。

たのが敗因。

ユーゴ 12 (6-1-4) 6

○……この試合に勝てばハンガリは2連覇の夢をつなげる。

その勝負がいかかってラフな試合運びになってしまい、要所で7MTをとられ、ユーゴはそのたび

にクネゼビクが確実に決めて優位にたつた。ハンガリも前半はどうかか互角にもちこんだが、ユーゴは後半トルティらの活躍でハンガリの野望をたち切った。

## 順位決定戦

西ドイツが5位に

◇5-6位決定戦(12月18日・アルンヘルム)

西ドイツ	13	6-1-4	3-1-5
デンマ	22	2-1-0	9

○……予選リーグでの対戦は大接戦の末12-11でデンマーク。この試合もまるでその時のつづきのようにもつれたが、最後はスタミナの優劣が順位を決めた。





# フランス、西ドイツ転戦は全勝

## 親善試合成績続報

### 親善試合の成績

(第8戦以降)

#### アンケレームに大勝

遠征第8戦はフランスにおける第2戦として11月19日アンケレームで地元の選抜チームを行った。

日 本 30 (14|16) 3 アンケレーム選抜

得001883450010  
本原岡 辺野尾毛田尾宅浦原  
【小北 渡牧寺三島枝三三古佐

GK FP (2) 30

(注) 相手のメンバーは不明

#### 後半一気に逆転遂ぐ

遠征第9戦は11月21日パリのサンモール体育館に約千四百の観衆

日 本 15 (7|9) 13 フランス

得000510010222  
スルルアスンクンールルン  
ンペーリーバブルン  
ラレラシロリゴルブーラ  
ラクイ ユラルゴリアエ  
【フスケベクデクウヒレモノギ

GK FP (1) 13

得00122110100000  
本原岡尾水 辺野田宅浦毛原  
【小北枝垂米 渡牧島三三三古

GK FP 15 (2) 7MT

を集め、フランスナショナルとの第1戦として行われた。

会場は日本でもおなじみのステラ・スポーツのホームコート。

フランスは前半こそノエルの好リードとクロスの巧技でリードを奪ったが、個人技、チームプレーとも日本が秀れ、しだいにフランスのディフェンスは日本のスピードに崩される場面が目立ちはじめた。後半は日本が完全に試合のペースを握って逆転、終盤は押しまくった。(この項フランススポーツ紙「レ・キブ」から)

仏ナショナルに連勝

遠征第10戦はフランスナショナルとの第2戦として11月23日パリ

日 本 13 (7|3) 7 フランス

得0000100510000  
スルルルネンアスルンル  
ンペーリーアスルンル  
ラレラシロリゴルブーラ  
ラクイ ユラルゴリアエ  
【フスケレマデクノビギブモ

GK FP 13 (1) 7MT

得026200030000  
本原水辺野毛原田尾宅浦  
【小垂渡牧三古島枝三

GK FP 13 (1) 7MT

のリップレイ・ガルガンホールに約八百の観衆を集めて行った。

17分まで3-3のせりあいだったが日本はそのあと渡辺、島田らの巧いプレーで加点、しだいにフランスを引きはなした。

フランスは第1戦の時よりもディフェンスが悪く、日本の素早い攻撃を食いとめるケースが少なかった(この項「レ・キブ」紙から)

西ドイツ第1戦も飾る

遠征第11戦は西ドイツにおける第1戦として11月25日ハンブルグのアルスタードムフ・ホールで地元

日 本 9 (3|3) 7 ハンブルグ

得001121000200  
グートンツルヒスング  
ルウナルダツエ  
ブナナルイーユ  
ツヒゲルイーユ  
【アワジミベシシボネクツメ

GK FP 9 (0) 7MT

列車による移動のあとなので、いささか疲れが見え、ハンブルグにリードを許したが、すぐに渡辺のダイナミックなシュートで3-3のタイにして前半を終了する。

後半、とりつとられつをし、7-7の同点から良く2点をとり、9-7で辛勝。この試合、ドイツのナショナルGK、アイヒナウアの堅陣を良く破った渡辺のシュート力が特に眼についた(ハンブルグの地元新聞記事より)。

ミルター 西ドイツナショナルが勇退 のエースとして多彩な攻撃を誇ったクリスタ・ミルター(ハンブルグ・ユニオンSC)がこの試合を最後に第一線から退いた。昭和43年9月来日、銀髪の強打者として日本のファンにも印象ぶかいプレイヤーであった。

渡辺、痛恨の激突、負傷

遠征第12戦は11月26日デュセル

日 本 18 (11|8) 13 ニーダーラ

得000015022111  
ントトヒトドカアスニ  
インーツウ  
ラナニツウ  
ラレナニツウ  
ダレレドングツリ  
【エセウ  
【Dオイ※エリ※エカレ

GK FP 18 (7) 7MT

得0160041001140  
本原口水 野毛原田尾宅浦  
【小滝垂米 渡牧三古島枝渡三

GK FP 18 (7) 7MT

のタイにして前半を終了する。

後半、とりつとられつをし、7-7の同点から良く2点をとり、9-7で辛勝。この試合、ドイツのナショナルGK、アイヒナウアの堅陣を良く破った渡辺のシュート力が特に眼についた(ハンブルグの地元新聞記事より)。

ミルター 西ドイツナショナルが勇退 のエースとして多彩な攻撃を誇ったクリスタ・ミルター(ハンブルグ・ユニオンSC)がこの試合を最後に第一線から退いた。昭和43年9月来日、銀髪の強打者として日本のファンにも印象ぶかいプレイヤーであった。

渡辺、痛恨の激突、負傷

遠征第12戦は11月26日デュセル

日 本 18 (11|8) 13 ニーダーラ

得000015022111  
ントトヒトドカアスニ  
インーツウ  
ラナニツウ  
ラレナニツウ  
ダレレドングツリ  
【エセウ  
【Dオイ※エリ※エカレ

GK FP 18 (7) 7MT

得0160041001140  
本原口水 野毛原田尾宅浦  
【小滝垂米 渡牧三古島枝渡三

GK FP 18 (7) 7MT

日本ハンドボール協会検定球

新製品！  
**チェコ型**

東京 **タチカラ株式会社** 大阪

ドルフのフィリップス・ジムに約七百の観衆を集めニードーライン選抜軍を行った。

ラフなゲームであった。両チームあわせて日本の7MTが課せられとも内容的には物足りなかつた。日本は後半相手の疲れに乘じて一気に逆転勝ちしたが渡辺がワルツラウドのトリッピングとブツシングに会い左膝を打撲するアクシデントがあった。

後半、豪快に逆転

遠征第13戦は11月28日ミンデンのクレイス・スポーツホールに約千三百の観衆を集めアイントラハト選抜軍を行った。

日 本 16(6-7)7  
 得00100100212  
 ト一ケクンストンストン  
 ハタニマ マキ  
 ラッフィー ジンケインケス  
 トポンタ キョウ キョウ  
 イエイベス I・リ・リ  
 【アニクパエマ※Oパ※Eコ】

GK F P  
 本 岡原尾水野毛原田口宅 尾  
 【日北小枝垂牧三古島滝三寺  
 得0014212201041  
 アイントラハトはキント姉妹を  
 中心としたセットプレーでポイン  
 トをあげた。日本も積極的に射っ  
 てだが前半はどうしても追いつ  
 けず接戦。力の差がはつきりてた

のは後半。スピードのあるゆさぶりで5点を連取、終盤は互いに主力を休ませたため、日本はさらに楽に試合を進めた。

最終戦も圧倒的な勝ち

遠征第14戦(前哨戦最終試合)は11月29日西ベルリンのシヨネバールグ体育館に約八百の観衆を集めて西ベルリン選抜を行った。

日 本 18(10-8)10  
 得000032140000  
 リントケヤングンツルリ  
 リンケマンキンツルリ  
 ベルゲ ユックリレッシュマルベ  
 ル ユックリレッシュマルベ  
 【西ハインドバガセデシンスパ】

GK F P  
 本 岡原口水野毛原田宅 浦尾  
 【日北小滝垂牧三古島三寺  
 得002432221200  
 トライアルゲームの最終戦、張  
 り切った日本攻撃陣はスタートか  
 らスピードにあふれた攻守で西ベ  
 ルリンを圧倒、快勝した。

これで前哨戦の通算成績は14戦12勝2敗。「ルーマニアにおける2試合はボールテクニック、速さ力強さで一歩をゆずったが他の4ヶ国では日本の速い動きが止」(山田監督)

「日本のおくれている点は防禦法(隊型ではなく動き)であり、基本を忠実にやる根気よき、粘りが必要」(宇津野コーチ)

「懸念された体格のハンディ、ボールを握るテクニックも馴れるにしたがい気にならなくなった。日本の早い動きは大きな「武器」であり、西ドイツの4戦はフォーメーションを一つも使わず乗り切った」(井コーチ)

渡辺の負傷以外すべてに順調、自信をもつてのオランダ乗りこみであったのだが……。

◇遠征第1戦詳報(11月3日・ゲロニングIIデンマーク)

日 本 14(8-6)12  
 得000141010212  
 クンルンルンンンン  
 クンルンルンンンン  
 セセセセセルンン  
 セセセセセルンン  
 マーセテウツツセルン  
 ースームゲンニスル  
 ン リームスイエガ・クリ  
 【デハダMパラツイラALLオ】

GK F P  
 本 岡原尾水野水辺原尾宅  
 【日北小寺三島 牧垂渡古枝三  
 得0000220343000  
 世界選手権後日本チームはイタ  
 リア協会の招きで12月24日ローマ  
 に立ち寄り、同国の指導者、女子  
 選手を前に紅白試合を披露した。  
 日本、ユーゴ、イタリアの国際  
 大会が中止となり代りに企画され  
 たもの。

イタリアで紅白試合

親善試合14戦を通して感じたヨーロッパの判定傾向は次のようなものである。

ヨーロッパの審判判定

一、エリア内防禦は即時7MT。  
 一、シューターに対するブツシング、ホールディングは文句なく7MT。シューターが振り切つてシュートした場合はとらない。(ポストプレイヤーがチャージ気味に押しこんで来る外国選手のプレーに日本はかなり7MTをとられた。)

一、シュート時の日本選手のステップはジャンプステップともオーパーステップにとられるケースが多い。フェイント時も同じ。  
 一、防禦での押し、突きは厳しく注意する(日本ではよく手を出す)

【宇津野】

12月27日 全日本女子・山田計に帰国 監督ら18人は12月27日午後10時15分着のフランス航空機で帰国した。山田監督以外ヨーロッパ遠征は全員初めてだったが元気な姿で田村会長、福本大崎電気監督ら日本協会、チーム関係者の出迎えをうけた。なお同チームは空港ロビーで「解団」した。

本誌では次号にも「世界女子選手権回顧」を特集する予定です。

日本ハンドボール協会公認



ゴールドスター  
 ハンドボール  
 シューズ



岡山釣鐘工業株式会社 東京

# 世界女子選手権より帰りに

## 6年ぶりの欧州遠征・課題と反省

### 山田 詩

(全日本女子監督)

西ドイツにいる時に、日本がアジア予選で勝ったことをきき、男子がガンバリつかんだチャンスを女子も世界選手権で続こうと、選手一同ははりきったのだが、どうも期待に答えられず残念であった。最初に、まず現在の日本の女子の達している技術・戦術などの水準はヨーロッパ諸国に決って劣っているのではない。このような意味での、6年間の空白というものは全く感じられなかった。

今回の敗因は種々のものが考えられるが、決って技術的・戦術的なものではなく、また各方面からいわれているような長期にわたるヨーロッパ転戦の疲れが本大会で出たということでもない。

強いていうならば、私を除き、他のコーチ、選手がヨーロッパをはじめであり、それからくる種々の精神的・肉体的なキャリア不足というものが大きく影響したことは否めない事実である。この点では、やはり6年間のブランクはあったといわねばなるまい。国際経験のない全日本女子チームを少しでも体験をつませ、その

キャリア不足を補うべく、11月の初めに出發し、各地を転戦するという長期の準備期間をもったことはむしろプラスの面が多く、心配された本大会での疲労は全くなかった。前哨戦は14戦12勝をあげ、コーチ・選手とも本大会でやれるという確信をもっていたのが、思わぬアクシデントのため崩れてしまった。

それは、11月26日のデュッセルドルフの親善試合での渡辺の負傷である。遠征中、当りに当り、フオーメーションプレーの中心に考え、ルーマニアとの試合でも高い評価を受けていた渡辺が負傷した

大会での各国の技術・戦術面はコーチングスタッフでしばしば話しあったが、優勝した東ドイツはスケールの大きな攻撃力をもち、

あとになって考えると選手達にも深刻な影響があったように思える。「事件」は試合中、相手のキヤッチミスのボールにスタートした渡辺を後からつきとばし更に足にのるというラフな反則からおきたことで、ただちに病院に入れたが歩行を禁止される状態、一時は快方に向ったが、オランダ入りしてからぶりかえし、ついにあきらめざるを得なかった。

このような状態で臨んだ世界選手権大会では、従来、垂水、牧野、渡辺の三本柱の一本が欠け、残る二人が徹底的にマークされた。このため、攻撃のリズムが全く狂い、不本意な試合のまま、力を出しきれないで大会をおわってしまった。

大会での各国の技術・戦術面はコーチングスタッフでしばしば話しあったが、優勝した東ドイツはスケールの大きな攻撃力をもち、

予選	リーグ	決勝	順位	失	得
(A組)	①ドイツ	①ドイツ	①	18	23
(A組)	②西ドイツ	②西ドイツ	②	19	21
(A組)	③日本	③日本	③	21	14
(B組)	①ユーゴスラビア	①ユーゴスラビア	①	18	26
(B組)	②ルーマニア	②ルーマニア	②	19	20
(B組)	③ノルウェー	③ノルウェー	③	22	13
(C組)	①東ドイツ	①東ドイツ	①	16	24
(C組)	②ハンガリー	②ハンガリー	②	12	20
(C組)	③オランダ	③オランダ	③	27	11
(I組)	①東ドイツ	①東ドイツ	①	14	24
(I組)	②ルーマニア	②ルーマニア	②	23	23
(I組)	③デンマーク	③デンマーク	③	23	18
(II組)	①ユーゴスラビア	①ユーゴスラビア	①	14	23
(II組)	②ハンガリー	②ハンガリー	②	22	23
(II組)	③西ドイツ	③西ドイツ	③	23	18
7~9位	⑦ノルウェー	⑦ノルウェー	⑦	19	20
7~9位	⑧オランダ	⑧オランダ	⑧	23	23
7~9位	⑨日本	⑨日本	⑨	23	23

### 全日本女子遠征総成績

11. 3	○	日	本	14-12	デンマーク	ク
11. 5	○	日	本	19-10	デンマーク	GF
				~以上	デンマーク	ク
11. 7	○	日	本	15-11	ポルトガル	ゲ
11. 8	○	日	本	20-11	スウェーデン	ホルム
				~以上	スウェーデン	デン
11. 10	●	日	本	14-18	ブルガリア	ト
11. 13	●	日	本	12-18	ルーマニア	ニア
				~以上	ルーマニア	ア
11. 17	○	日	本	26- 8	アイスランド	イ
11. 19	○	日	本	30- 3	アイスランド	ス
11. 21	○	日	本	15-13	アイスランド	ム
11. 23	○	日	本	13- 7	アイスランド	ス
				~以上	アイスランド	ス
11. 25	○	日	本	9- 7	ハンガリー	グ
11. 26	○	日	本	18-13	ハンガリー	ライ
11. 28	○	日	本	16- 7	アイスランド	ント
11. 29	○	日	本	18-10	アイスランド	リ
				~以上	アイスランド	イツ
12. 11	●	日	本	7-10	西ドイツ	ク
12. 12	●	日	本	7-11	西ドイツ	エ
12. 15	△	日	本	12-12	西ドイツ	ダ
12. 17	●	日	本	11-13	西ドイツ	ク
				~以上	世界選手権	権

18戦12勝5敗1引分

さすがと思わせるものがあつた。2位以下の各チームに対しては十分に對抗できる確信を強めて帰ってきた。

特に2位になったユーゴとは大大会期間中同宿であつた関係もあり、五度の練習マッチを行ない、互格の戦績を残している。もちろん本大会と練習ゲームは違うではあるが、戦術・技術面では決して劣っているとは思えない。

また、他の上位チーム、ハンガリー、デンマーク、ルーマニア、西ドイツにも十分對抗できる。特にルーマニアには、公式戦では敗れはしたが、練習マッチでは、13-13と引き分けているし、十分に對抗できる。

審判の問題もやや面喰うこともあつたが、これは判定基準が女子

は女子用の笛を吹くという底流がヨーロッパにはあるようで、これは決つて、成文化されたり、審判講習会で公式に出てくるものではないのであるが、女子の場合には、粗暴な行為はあつてはならないということ、必要以上に7MTをとっている。特に日本チームは体重が軽いいため、エリアに押しこまれる形で両足防禦をとられるケースもままあつた。女子用のジャージングの問題は日本でも検討する必要がある。

大会には、かなりの観衆も集り女子の六年ぶりの世界選手権という事で、関心も高く、将来オリンピック採用の可能性もあるという事で、更に拍車がかげられ、熱気溢れたすばらしい大会であつた。

(談・文責編集部)

'71



洋装服飾専門商社(株)三景・東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

# スポーツ審判ハンドブック

編集 日本体育大学教授 佐々木吉蔵 東海大学教授 西山常夫 日本大学助教授 永嶋正俊 東京大学助教授 豊田 博

●スポーツの審判技術とルールを網羅した

試合を裁く審判は十分な審判技術を身につけ、公平・厳密・的確に試合を進行させなければならない。本書は24種目のスポーツのルールと審判の技術を事典形式で解説し、ゲームの進行に沿って具体的にジャッジできるよう、初歩から第一線級の審判技術を網羅した。校内競技大会の審判にも十分役に立ち、体育・スポーツ関係者のみならず、プレーヤーにも必携のハンドブックである。

菊判・八二四頁・上製函入 ¥2800

**構成・内容**

【総論】審判に関する基本的事項・及各種目に共通する一般的事項

【各論】各スポーツ種目の審判法を競技に即して具体的に記述

I 序論 スポーツ種目の特性から生ずる審判に関する基本的事項 ①種目特有の審判概論 ②審判の構成と任務 ③審判のゼスチュア ④審判の服装 ⑤競技時間など

II 試合前の審判員の任務 試合前に、審判が心がけ、準備すべきものを具体的な形で記述。

III 試合の進行 各競技種目の審判法を競技の特性をおいながら、プレーとルールを関連させて解説

IV 試合終了後の審判の任務 試合終了後に審判がしなければならない事からを記述。

V 付録 ①審判員制度の紹介 ②重要な審判技術および知識の理解に役立つよう設問を付し解答を与える。

種目

バレーボール／バスケットボール／ハンドボール／サッカー／ラグビー／野球／ソフトボール／テニス／卓球／バドミントン／アイスホッケー／陸上競技／水泳(競泳・飛込)／水球／体操／スキー／スケート(乗道／剣道)／すもう／レスリング／ボクシング／弓道／なぎなた

東京・神田錦町3-24

大修館書店

振替／東京40504 <内容見本呈>

# GW・ダンケルセン(西ド)が来日

## 4月上旬 全日本と2〜3試合を予定

日本協会はオリンピック強化対策の一環として、かねてから来日を希望していた昨シーズンの西ドイツチャンピオン「グルン」・ワイス(GW)・ダンケルセン」クラブを4月上旬招き、新編成のオリンピック候補チームと2〜3試合を行うことを内定、日程など具体的な折しようをはじめた。

同クラブは、3月末から極東旅行の途次日本に立ち寄るものだが昨春来日したVfL・グンメルスバッハが世界的アタッカーのシュミットのワンマンチームといった

感じに比べてGW・ダンケルセンはムンクを中心に洗れんされたチームプレーが身上、日本チームへ与える影響も大きなものがあるろう

西ドイツタイトルを獲得したのはは昨季が初めてだが、西ドイツリーグではつねに優勝候補にあげられており、11人制のヨーロッパで優勝したこともある。

なお、今シーズンのヨーロッパカップでは2回戦で強豪マイ・モスクワ(ソビエト)に12-11、13-11で連敗、ベストエイト進出を阻まれている。

## 1月25日からアメリカ地域予選

ミュンヘンオリンピック大陸予選の二番手として、アメリカ地域予選が1月25日から30日までワシントンで開かれる。

参加国はアメリカ、カナダ、メキシコ、アルゼンチンの4ヶ国、リーグ戦で一つの代表権を争う。

昨年の世界選手権(パリ)予選ではカナダがアメリカを破りながら経済的な理由で辞退、アメリカの出場となっている。

今回も両国の優位は動かないようで一九七六年のモントリオールオリンピックを控えたカナダ、意欲的な強化活動をつづけているアメリカの対戦は興味深い。メキシコ、アルゼンチンはこれまでほとんど国際的な実績がない。参加が予想されたブラジルは欠場。なおヨーロッパ予選は3月15日からスペインで、アフリカ予選は3月25日からチュニジアで開かれる予定。

## 日本審判員の起用は望みうす…オリンピック

日本協会ではかねてから日本人審判員のオリンピック、世界選手権など国際舞台における登用を国際ハンドボール連盟に対し要望していたが、アジア予選のため来日したホルル技術委員長は日本協会・荒川理事長との会談席上「IHF Fとしても各大陸と多くの国から優秀なレフェリーを集めたいと考えており日本も例外ではない。ただ我々は日本の審判員の「実力」を知らないし、ミュンヘン・オリンピックのレフェリーは各大陸予選を担当したペアを主体に選ぶことが望ましい」と述べてた。

今シーズンデンマークリーグのトップを走る名門スタディオ・IFクラブは5月中旬来日し5-6試合を行いたいという希望を寄せてきた。日本協会では受け入れについて近く協議する。またユーゴ女子ナショナル、ハンブルグ女子選抜西ドイツも日本遠征の意向を明かしている。

キール 日本協会は昨年12月の断念 月例常務理事会で2月に来日を希望していたT.H.W.キールクラブ(西ドイツ、男)はことわることになり、7月来日を打診してきたパリ大学男女(フランス)については全日本学連の意向によって態度を決める。

は1月14日の月例常務理事会で「IHFに対し大陸別の理事を役員構成の中にもりこむよう提案するつもりだ」と述べた。

IHF理事(定員7名)の選出は2年に1度開かれる総会席上各国の互選で行われているがヨーロッパ偏向の色が濃く現理事もモハメッド・ファダリ氏(アラブ連合)以外はいずれもヨーロッパ諸国の出身。

渡辺副会長は「大陸別の代表はアジア、アメリカ大陸への普及のためにも必要であり、今夏の総会で決議にまで持ちてみたい」としている。

### オリンピック基金増額か

田村日本協会々長は47年度予算編成にあたって従来の一括収支を一般会計・機関誌会計・オリンピック対策会計・特別会計の4部に分ける意向を明かした。

また35年度に実施以来一律百円(チーム単位)の「オリンピック基金」の増額(詳細未定)を全国会議(理事会、評議員会)に企てる予定。

### 五輪派遣費の政府原案

日本体協に対する昭和47年度の国庫補助金の政府原案が1月12日決まった。それによると決定額は二億四千九百六十九万七千円(前年比約四千九百万円増)。注目のミュンヘンオリンピック派遣費は約二百八十人分に相当する七千万円が認められた。

### IHFに提案

「大陸別理事」を

# 指導者養成など 底辺活動を協議

～普及部全国委員会開く～

流布し、指導者講習会も日本協会を通じて行政機関とタイアップ、企画することに決めた。

このほか団体の種別出場チーム数および地域別割りあて数の再検討、ミニ・ハンドボール（幼少年向きハンドボール）の研究、教育系大学大会の開催、資料部門・研究部門の設置などの提案が行われ日本協会の意向を質すことになった。

## 中学問題検討委が発足

日本協会では中学校対策を検討するための特別委員会を編成、このほど委員長に荒川理事長を決めたほか、4名の常任委員を発表した。問題の進展にともない他の委員や中体連関係者を加えていく意向である。同委の第1回会合は12月18日東京で開かれ注目の「全日本中学校選手権（仮称）」の開催を宿泊費（全額）日本協会負担の線で打ち出した（3頁参照）

オリンピック出場権獲得後、世界の最重要課題は普及部による底辺対策にあるとあって活発な議論がつけられた。特に指導者の養成テキストブックの作成などについて早急に具体化を望む声は圧倒的で「中学校体育指導要領」に再採用されながら指導の手引きとなるデータやサンプルが整えられていないことなども指摘された。

これらの点についてはすでに草稿のできあがっている「テキストブック」、試作品が完成した「スライド」などを早い機会に一般に

## 昭和47年度全国大会日程 案

- ▽第4回全日本自衛隊選手権 5月19～21日（東京駒沢）
- ▽昭和47年度全国実業団トーナメント 6月18～21日（岐阜〓予定）
- ▽第19回NHK杯全日本選抜大会 6月23～25日（大阪市中央体育館）
- ▽第14回全日本実業団選手権（女子）7月18～22日（室蘭市）
- ▽第23回全日本高校選手権 8月1～7日（山形県東根市）
- ▽第1回全日本中学校選手権〓仮称 8月（愛知県下）
- ▽第15回全日本教職員選手権 8月16～19日（千葉県佐原市）
- ▽第21回（女子第4回）全日本学生選抜東西対抗戦 9月15日（名古屋〓予定）
- ▽第14回全日本実業団選手権（男子）9月27～10月1日（名古屋〓予定）
- ▽第27回国民体育大会ハンドボール競技 10月22～27日（鹿児島県隼人町）
- ▽第15回（女子第8回）全日本学生選手権 11月（大阪）
- ▽第24回全日本総合選手権 12月5～10日（東京）

盟団体の希望を聞き原則的に承認した。学生女子については未定。

- ：47年度日韓交流案：○
- ▽第2回女子実業団交流 5月中旬～下旬 日本側遠征
- ▽第6回日韓学生交流 6月または7月 韓国側来日
- ▽第7回日韓高校交流（第5回日韓高校交歓競技会）〓日本体協に問合せ中。
- ▽第2回日韓男子社会人交流 韓国側来日。

クククククククククククク  
全日本男子を推せん

読売新聞社制定の日本スポーツ新聞社制定の日本スポーツ賞部門賞として日本協会はオリンピックアジア予選に快勝の全日本男子チーム（村田弘監督ら18人）を推せんした。

村山岡山協 村山寛・岡山県協会長が受賞 会長（日本協会評議員、64才）は昨秋、スポーツ界への功績で藍綬褒賞を授与された

## 2月11日に全国評議会

日本協会は定例の全国評議会を2月12日午後1時から全国評議会を2月11日午後1時からいずれも東京・岸記念体育会館で開くことを決めた。

## 男子学生、社会人が来日か

日本協会は12月の月例常務理事会で47年度の全国大会日程について協議、内定した。NHK杯の大坂開催と全日本中学（仮称）の新設が注目されよう。

女性の美しさを創る…ファンシーヤーン

生活を彩る……………ファンシー  
パソコンカーペット  
ハイライフ

 **ダイヨ-ボロ** 岐阜・羽島

# 大崎電気、激斗のすえ優勝(6度目)

全日本総合選手権・東京

## 女子は日本ビクターに初の栄冠

今年度のナショナルチャンピオンチームを決める第23回全日本総合選手権は12月14日の開会式にっ  
びき15日から19日までの5日間東京千駄ヶ谷の東京体育館(第1日のみ駒沢屋内球技場併用)に全国  
のトップクラス男子16、女子12チームが参加して開かれた。

男子はオリンピック出場権獲得直後とあってかかってない盛りあがりを見せ、久々に所属チームに戻  
ったナショナルプレイヤーの個人技も冴えて充実した試合が続いた。4強による決勝リーグは予想  
どおり激しい星のつぶしあいとなったが、結局大崎電気(日本協会推せん・埼玉)が2年連続6度目  
の優勝を飾った。

女子は、主力を世界選手権に送りこんでいたため迫力に欠けたが、若手の有望選手が期待どおりの  
活躍を示し初優勝を狙う日本ビクター(全日本実連推せん・茨城)―ブラザー工業(同・愛知)の争  
いから日本ビクターが宿願の全日本タイトルを手にした。

なおこの大会が東京で開かれたのは第4回(駒沢)以来19年ぶり3度目。7人制(室内)では初、  
また予選トーナメント・決勝リーグの採用は男子では初めて。

## ベスト4に実業団3チーム

### 男子予選トーナメント

▽A組1回戦

ワクナガ 薬品(協 推・大阪)	17 (9―8) 13	大阪イ グルス (教推・ 大阪)
中 大(学 推・東 京)	39 (21 18― 3) 8 11	自衛隊勝 田(自推 茨城)
▽同2回戦		
ワクナガ	14 (8―5) 6 11	中 大
薬品	6―5	中 大

〇……へき頭を飾るワクナガ×イ  
グルスはたがいに手の内を知り  
あった同士。イグルスがベテラ

ン揃いらしい巧みなかけ引きでワ  
クナガを苦しめた。

ワクナガは3―3から前半13分  
14分(7MT)早川の連続ゴール  
でリード、さらに17分戸田がおし  
こんで優位に立った。イグルス

にとって3点差はそう重荷になら  
ぬはずだったが、後半開始早々2  
点を失い5―10とされたのが響い  
た。中大×自衛隊は前半なかばか  
ら中大のペースとなり一方的。

〇……ワクナガ×中大はワクナガ  
が市原の活躍などで出足よく滑り

出したが、中大も若さにあふれた  
直線攻撃で応じゆう好試合となっ  
た。特に後半5分6―10からみせ  
た中大の反撃は鮮やかで7分佐藤  
要の7MTを口火に9分佐藤光、  
11分田中、16分佐藤要とアツとい  
う間に追いついた。

〇……波にのった中大がここでさ  
らに一押しすればいっそもつれ  
たのだらうが、ワクナガは木野を  
中心に立ち直り、17分市原、19分  
森で優位をキープ、23分にも早川  
がゲットして粘る中大をねじ伏せ  
た。(杉山)

▽B組1回戦

日体大  
(学推・東  
京)
 19 (18―5) 9 | セントラ ル自動車 (実推・ 神奈川) || 芝浦工大 (学推・東 京) | 22 (16―8) 16 | 東京教員 (東京) |
| ▽同2回戦 |  |  |
| 日体大 | 19 (11―8) 16 | 芝浦工大 |

〇……学生勢がまとまりのよさで  
2回戦へ進んだ。日体大はややも  
たつき気味だったが、後半はシャ  
ープな切りこみと松原の好シュー  
トでセントラルを制した。  
芝工大×東京教員は東京の個人  
技を中心とした粘りに前半はせり  
あったが次第にスピード差があら  
われた。芝工大は後半5分10―8  
のあと5分間に連続5ゴールをあ  
げて大勢を決め、終盤は大江、新  
実が交互にポイントして快勝し  
た。

〇……日体×芝工大。学生同士ら  
た。

全日本総 第23回全日本総合選  
合開会式 手権の開会式は出場  
チーム代表者会議を兼ねる新しい  
試みが採られ12月14日午後5時30  
分から東京・岸記念会館(体協)  
大会議室で行われた。田村日本協  
会々長、外山東京協会副会長の  
挨拶、前年度優勝チームからの優  
勝旗返還などがあった。

最初のリードは日体大が3分松岡  
のミドル、4分高橋の速攻で奪っ  
たが芝工大も5分明石のミドル  
9、10分に鮮やかな速攻から木  
全、大江が決め逆転、12分日体大  
松原で4―4と追いついたあとは  
一進一退となった。

しかし20分をすぎると頃から日体  
が層の厚みをみせて松岡の好シ  
ートなどで再びリードを奪い返  
した。

### 歴代チャンピオンチーム

12 昭昭昭昭昭	24 昭昭昭昭昭	25 昭昭昭昭昭	26 昭昭昭昭昭	27 昭昭昭昭昭	28 昭昭昭昭昭	29 昭昭昭昭昭	30 昭昭昭昭昭	31 昭昭昭昭昭	32 昭昭昭昭昭	33 昭昭昭昭昭	34 昭昭昭昭昭	35 昭昭昭昭昭	36 昭昭昭昭昭	37 昭昭昭昭昭	38 昭昭昭昭昭	39 昭昭昭昭昭	40 昭昭昭昭昭	41 昭昭昭昭昭	42 昭昭昭昭昭	43 昭昭昭昭昭	44 昭昭昭昭昭	45 昭昭昭昭昭	46 昭昭昭昭昭
男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上	男子 塚体専体 大日日日 以上	女子 専体俱 日体日 以上

○……後半、日体は佐藤富のゲツトなどで11分15-9と安全圏に入ったかにみえたが、芝工大も粘りが大の多彩な攻めにゆきまぶられた。15-16、がぜんエキサイトした。日体は26分松岡、芝工大は28分新実がゲツトして残り2分に勝負がかげられたが日体は巧く芝工大の焦りを誘ってチャンスをつかみ29分松岡、29分40秒高橋精がゴールを決め辛くも逃げ切った。1点のとりあいにはスリリングなシーンが連続したが粗暴なデイフエンスが目立ったのは反省して欲しい。(大塚)

大同、大崎電気に屈す

▽C組1回戦

大崎電気 28 (1810 | 4) 7  
 (協推・埼玉) 社会人・愛知

大同製鋼 31 (1615 | 4) 13  
 (実推・愛知) 大阪体大・愛知

▽同2回戦

大崎電気 19 (11 | 6) 8 14  
 大同製鋼

得0 033170000  
 同川 谷田中藤井原沢松

【大柳】戸野藤加中橋小小  
 GK F P (審・岡前)

【崎里】藤森田 口野藤 田  
 大下 近近飯 谷旗佐 沢

得0 17532001000  
 ○……1回戦の2試合はともに前

19 (3) 7MT (3) 14

半15分で勝負のメドがついてしまった。善戦が期待された大阪体大は中村を軸に速い攻撃を仕掛けたが大の多彩な攻めにゆきまぶられた。桜丘会も精いっぱい健闘、GK杉山の堅守がなければさらに点差は開いたであろう。(奥村)

○……優勝争いともいえる大崎×大同はさすがに見応えがあった。序盤は大崎が押しまくった。3分野田のサイドからの切り込みで先制、中井、藤中のカットイン、ロングなど攻めわけて23分8-4とリードを奪い主導権を握るかにみえた。

ところが大崎は24分から近森、飯田にボールを集め一気の反撃を狙った積極策が成功、両エースも期待に応えて好シュートをとばしタイムアップ寸前8-8に迫っていた。

○……後半に入るとベースは完全に大崎のもの。9-9から大崎はパス攻撃で大同のデフエンスを崩し、近森の好リードから谷口、飯田らが矢次早にゲツトして12分には14-9と開いた。大同は中井藤中の射つコースをマークされてわずかに7MTでゴールをあげるだけ、大崎の多彩さに一歩をゆずって、前半の先制空しく敗退した。(千野)

▽D組1回戦

兵庫(教) 18 (108 | 8) 15  
 推兵庫(東) 17 (107 | 7) 15  
 法政大 (学推・東京)

三景 景 23 (1211 | 10) 18  
 (実推・東京) 木(東) 本社会人(栃木)

▽同2回戦

三景 17 (107 | 7) 13  
 兵庫

○……予想どおりスワロー×法大が白熱した。たがいに早い攻撃が身上、めまぐるしく攻防が入れかわり前半は決定的な場面もなく4回のタイスコア。後半スワローは立ちあがり井上が連続3ゴールして5分11-9としたのが結果的には勝利につながる。殊勲打となった。この点差が法大へ重くのしかかり1点差に追いこむのがやっと23分13-15から田上、小林で15-15にしたものの疲れがのぞき1分後あっさり北山に16点目を奪われた。(岡前)

ワクナガ、日体・大崎と分ける

男子決勝リーグ

ワクナガ 8 (3 | 3) 8  
 (5 | 5) 8 日体大

得0 0012012220  
 日体誠 海精原雄下富井原岡

【高橋】水高松佐岩佐喜浅松  
 GK F P (審・岡前)

【井原】原野川 橋田井井

得0 2211030000  
 今市木早 高戸松藤

○……最近にない好試合だった。木野、早川らのコンピネーション

8 (1) 7MT (1) 8

れた。その後の好機も拙攻から逃し、28分、29分ペテラン揃いのスワローにダメを押されてしまった。三景×AOKは三景ベースで運んだがAOKもよく食い下った。三景は後半開始と同時にスパイト10分までに7ゴールをマークして18-8と放し終盤を楽なものにした。(杉山)

○……実力伯仲の三景×スワローは三景のリードで始まったがスワローも旭らの攻撃で盛り返しもつれた。

後半も1点を競うシーソーゲームをくりひろげたが20分11-11から三景は植田、内藤、高梨、上平と速攻をたたみかけ勝利を手中にした。

のうまさまで押すワクナガに対し、日体大は徹底的に走りまくり馬力で対抗した。前半はワクナガが冷静なプレーで先手をとり、半ばすぎまで3-0とした。しかし日体大も終盤で追いあげて3-3。

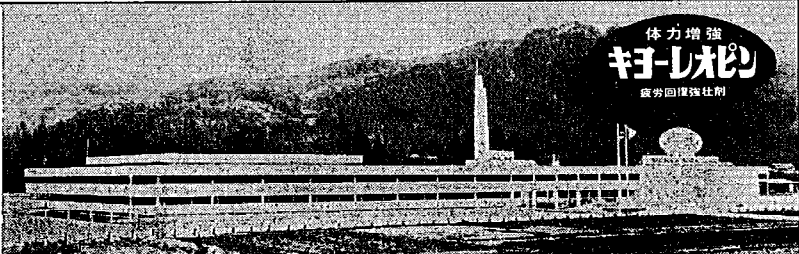
後半も取りつ取られつものせり合いを続け、15分から25分まで7-7と全くの互角に試合は進んだ。そして26分、日体大はセットから高橋-浅原と渡るみごとなスカイプレーでポイント、この試合初めてリードを奪い、そのまま逃げ切るかに見えた。

近代化を誇る  
湧永薬品広島工場

**湧永薬品株式会社**

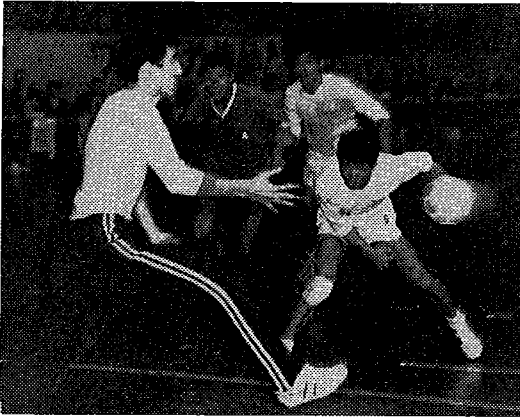
本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901~5  
 東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996・7891

体力増強  
**キョーレポ**  
疲労回復強壮剤



支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌  
工場/広島・和歌山





大崎一三景戦 大崎G.K. 下里の好守

前半は両チームとも攻撃にいま一步のスピードがなく、相手のディフェンスを切り崩せず4-4の互角。  
しかし、後半に入ると大崎は近森、飯田、東のトリオが確実にチャンスを活かしてシュートを決め、17分までに6点をたたき出して10-4とリードした。

大崎電気 19 (9-13) 9 三景  
○……個人技、チーム総合力とも大崎が上廻りテンポの早い攻撃で三景ディフェンスを崩した。三景も好選手を揃えているが鋭さに欠け、時おりつかむチャンスも大崎の巧みなディフェンスに封じら

大崎電気、三景に楽勝

だが、さすがにワクナガはしぶとい。その直後、日体大のチャージングの反則を生かして速攻をかけた。ワクナガがやや有利の予想だったが、日体大は走りまわってワクナガの変化のある動きを消極的にしたのがよかった。  
(共同通信戦評から)

大崎、日体大をかわず  
大崎電気 11 (4-4) 7 日体大  
○……守りの大崎、速攻の日体大と全く違ったタイプだったが、日本選手4人をそろえた大崎が実

得点	0	0	1	0	1	5	0	1	1	0
景	原田	梨藤	井平	崎村	山喜	高内	植武	上池	竹	
GK	審	岡村	奥村							
下	藤森	田	藤野	口	田					
東	佐	旗	佐	谷	沢					
大	下	岩	近	飯	佐	旗	佐	谷	沢	
得	0	0	2	3	4	4	2	0	1	1
後	半									
大	崎	は	若	手	を	送	り	だ	す	ゆ
と	り	を	み	せ	る	ほ	ど	で	楽	勝
大	崎	電	気	1	1	(	3	)	7	MT
										(
										0)
										9

後半は両チームとも攻撃にいま一步のスピードがなく、相手のディフェンスを切り崩せず4-4の互角。  
しかし、後半に入ると大崎は近森、飯田、東のトリオが確実にチャンスを活かしてシュートを決め、17分までに6点をたたき出して10-4とリードした。

三景、前半タイの善戦  
ワクナガ 20 (8-18) 10 三景  
得000131500000  
景牧井田井梨藤田原平崎村  
【西大植武高内喜山上池竹

得点	0	0	1	0	0	1	4	1	0	0
景	海	精	原	雄	下	富	岡	原	田	井
GK	審	岡村	佐野	前						
下	森	藤	田	藤	口	田				
東	飯	旗	佐	谷	沢					
大	下	近	飯	佐	旗	佐	谷	沢		
得	0	4	0	2	3	1	1	0	0	0
日	体	大	も	ゴ	ー	ル	前	の	ク	ロ
日	体	大	も	ゴ	ー	ル	前	の	ク	ロ
レ	ー	リ	か	ら	松	岡	が	切	り	込
ん	で	得	点	す	る					
な	ど	善	戦	し	た	が	、	結	局	、
最	後	は	日	体	大	の	差	が	勝	敗
を	決	め	た							
大	崎	電	気	1	1	(	0	)	7	MT
										(
										0)
										7

超一流の試合内容  
大崎電気 6 (6-15) 6 三景  
引き分け

日体大、3位を確保  
日体大 19 (10-9) 9 三景  
得0001111320010  
景健井原田平藤梨田井村崎晃  
【西大山喜上内高植武池西

後半は地方の差がでた。ワクナガは2分木野、4分戸田のゴールでペースをとり戻し、粘る三景から15分以降連続8ゴール、突き放した。三景の試合ぶりはさすがに印象を残した。  
(杉山)

まっくろけ

# 黒の中の“純黒”男っぽいやツ

MITSU-BISHI BA-31

## 三菱ボールペン 純黒 BA-31 ¥30

まっくろけ

三菱鉛筆株式会社

得0 1100310  
 ク井 原野川 橋田井  
 【今】 市木早 高戸藤  
 GK  
 森野 東 口藤  
 里 飯旗 谷佐 林  
 【大下】 1102002  
 得0 1102002  
 F.P. (審・岡村)

6 (0) 7 MT (0) 6

○……すさまじい試合であった。実力伯仲とはまさにこのことをいうのだから。  
 前半なかばまでは相手の動きをさぐりあうという戦況。当然のことながら大崎は木野を、ワクナガは近森の動きを食いとめにかか。15分2-2からワクナガが17分高橋、18分10秒市原と先行、大崎も18分45秒東が返して3-1、しかしワクナガは22分高橋の巧技でまた2点差をつけ突き放すキックをつかむかにみえた。  
 ○……大崎のよさが発揮されたのはこのあとである。23分30秒近森が強引に割りこんで4-5としたあと、ワクナガディフェンスの注意を左側の近森-飯田ラインに引きつけておいて東を基点とした右サイドからの攻撃を仕掛けた。27分と29分30秒みてシュートに右ウィング林が期待に応じてシュートを決め逆転、ベテランの好リードが若い力を巧く活かした場面であり結果的には林のプレーが大崎に優勝をもたらす一因にもなった。  
 ○……後半ははじめからワクナガ

が押し気味。10分木野が老巧なプレーで7MTを誘い高橋が決めて6-6、この時はまさかこの1点が後半唯一のゴールになるとは思わなかった。  
 同点になったあとの20分間は史上に記憶されるべき迫力のある展開となった。大崎-近森、飯田らの強シュートはワクナガF.P.とGK今井の好ディフェンスにはじき返され、一方ワクナガのセットプレーは大崎の厚いシフトにシュートチャンス容易に与えない。

## 山陽女高、東女体大破る

### 女子予選トーナメント

A組1回戦  
 大崎電気 10 (6-15) 7 日体大  
 (実推・東京) (学推・埼玉)  
 日本ビク 8 (4-15) 7 美和ク  
 ター(実) (4-12) (東京)  
 推(茨城)  
 同2回戦  
 日本ビク 13 (4-13) 6 大崎電気  
 ター(9-13) 6

○……大崎、ビクターともにこずつての2回戦進出だった。  
 大崎は気力にあふれた日体の速攻に11分3-5と劣勢、しかしそのあと新島の巧技で盛り返し後半開始直後には佐藤が活躍、逃げこんだ。日体はいったん優位に立ったあとかえって粘りが欠けた。

○……両チームが手を変え品を変え攻め守る熱気はスタンドの興奮をよんだ。ハンドボールの新しい醍醐味の発見でもあった。  
 さらにこの試合を盛りあげたのは大崎GK下里の快技だ。  
 緊迫した大試合の雰囲気なかで沈着に7MT5本のうち4本をストップした心・技は驚異的である。  
 このほか後半だ

内容  
 川井橋野  
 (早藤高木)  
 阻止  
 6分5分  
 5分17分  
 18分  
 下里 前後半  
 前後半

(杉山)

ビクターは危かった。美和クが練習不足を個人技と試合かけひきでカバーしたのは賢明、若いビクターは追いついてははなされ後半2分には4-6となった。しかしいかに巧者揃いとはいえずスタミナの差はかくせずビクターは13分6-6に追いついたあと20分江川が初めてリード点をあげ、23分大塚のゲットで辛くも勝ちを決めた。  
 (清水)

○……ビクター×大崎は7MTの射ち合いに終始した。合わせて12本の7MT(うちビクター7大崎2成功)というのは国内では珍しい記録。大崎は佐藤のシュートで巧くすべり出しながら7MTで追いつかれ、反撃の期待された後半

も10分間に7MTで3点を奪われたのが響いた。ビクターは連見姉が攻防両面で好リード、特に後半はスピード豊かな鮮やかな試合ぶりみせた。  
 (杉山)  
 B組1回戦  
 東京重機 9 (5-15) 8 東京教大  
 (実推・東京) (学推・東京)  
 田村紡 15 (8-16) 9 鹿児島ク  
 (実推・三重) (7-13) (鹿児島)  
 同2回戦  
 田村紡 16 (5-13) 5 東京重機  
 (11-12) 5

○……東京重機×東京教大は教大の粘りでこの日いちばんの好内容となった。立ちあがり重機は得意の組織攻撃で3-0。教大はくじけずセットから着実にシュートを決め15分3-3、17分には斐沢が決めて5-4とリードを奪った。  
 後半に入ると重機は再び攻撃に



ハンドボール  
 愛好者  
 募集中!!

昭和38年チーム結成  
 全日本実業団大会7回  
 連続出場



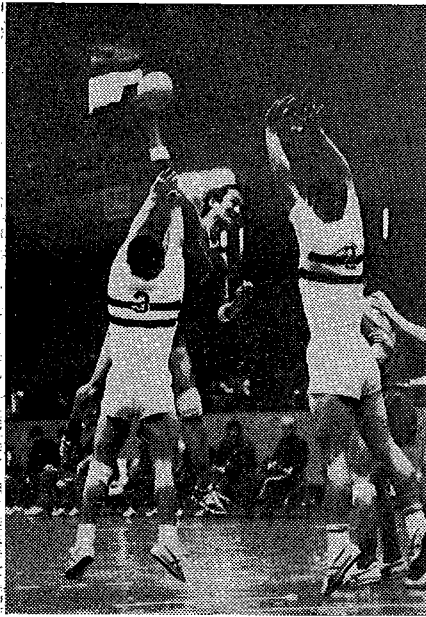
荷役運搬機器の総合メーカー

主要製品

テーブルリフター

タヨシ産業株式会社

本社・工場 名古屋千種区豊年町3-37電話(741)4121代表  
 東京営業所 東京都世田谷区祖師谷2-1025 電話(482)3589



テンプがのり鈴木、村上らで11分には9-5とはなした。  
 教大は12分すぎから再び反撃、21分継のシュートで8-9まで迫ったのだが重機も懸命に守り切った。田村紡×鹿兒島は鹿兒島の積極的な試合ぶりでもつれ前半6回タイとなる熱戦を演じたが、後半田村紡は辻のゲットで10分11-6と主導権を握りそのまま逃げこんだ。(清水)

○……田村紡×重機は期待はずれの凡戦。重機は再三チャンスをつかみながらシュートが甘く田村にペースを奪われ、特に後半は一方的な経過となった。

田村紡は8ゴールをあげた広森の進境が目立った。(杉山)

山陽女、ブラザーには及ばず

▽C組1回戦

ブラザー 24 (15-3) 6 (社会人)  
 工業(実) 15 (9-3) 6 (山口)  
 推・愛知  
 山陽女高 13 (4-6) 6 (東女体大)  
 広島(高島) 9 (1-0) 6 (東京)

得点  
 女 0 0 1 2 3 0 0 0 0 0 0 0  
 田井橋江井良田告井森塚  
 【増安高堀川屋西本石藤石】

GK  
 谷紙由井田口上山瀬 元美  
 陽三村和町折村横嶋 中村  
 福久岡久

FP  
 0 0 3 0 2 2 3 4 0 1 0 0 0  
 0 0 3 0 2 2 3 4 0 1 0 0 0

13 (2) 7MT (0) 6

6分速攻で2-0とリードしたが東女体大もローリングオフエンスから川井のシュート力を活かす策戦で一気に5ゴール、一日の長を思わせた。ところが後半に入るや山陽はスピード豊かな攻撃で4分たらずの間に町田、村上、折口、村岡由がたてつづけにゴールして逆転、さらに攻撃の手をゆるめず、村上の3得点、村岡由、蛸瀬らで加点した。東女体大の甘いシュートからの逆速攻、セットからのロングなど高校ばなれした攻撃

## ビクター接戦を乗り切る

ぶりと、東女体大を後半4本のシュートにおさえこんだ守備力は鮮やかだった。(大塚)

○……山陽女高が実業団に挑んだ一戦はブラザーが後半地力勝ち。波にのる山陽女は前半互角に戦い期待をもたせたが、ブラザーは後半シュートが安定、5分、13分エース金村の強シュートで優位に立ち、得点を重ねた。山陽女高はシュートがバレーやポストに当たる不運はあったものの22分の7MT(村岡)1点に留り力負けだった。(奥田)

## 女子決勝リーグ

ブラザー 8 (4-2) 5 田村紡  
 工業 4 (1-3) 5 田村紡  
 得点  
 0 1 1 0 1 0 0 2 0  
 田保 田田 森平 田林  
 村保 保辻 森平 田林  
 【久】金久 広紀 沼若

分4-1と開いた。  
 後半開始直後、田村は金田のゲットで差をつめたが余裕のあるブラザーは、5分5-3、10分6-3、15分7-3とがちり先行、守っても広森の動きを封じこめ、GK佐藤が4本の7MTのうち3本を捌いたプレーも勝因につながった。(杉山)

【藤】田浪居村田塚本川 平森  
 得点  
 0 0 1 4 2 0 1 0 0 0 0  
 山藤鳥金藤長森原

GK  
 審・千野

○……前半なかならずまで1-1はげしい動きも決め手を欠いて空まわりの感じだった。  
 試合の流れを変えたのは17分ブラザーの7MT。焦る必要もなかったのだが田村紡はそのあと2回の反撃機をパスマスで失ったばかりか、ブラザーの速攻をあげて19

日本ビク 4 (2-0) 2 田村紡  
 得点  
 0 0 0 1 0 1 0 0 0  
 田保 田平田 森 田林  
 村保 保辻 森 田林  
 【久】金紀久 広 沼若

GK  
 審・千野

【日】木末姉川櫻妹部塚山沢口野  
 得点  
 0 0 0 0 2 0 1 0 1 0 0 0 0  
 渡鈴連江八連阿大富谷山高

○……田村紡が押し気味に試合を



# ★ 強力ナイロン糸巻構造 MIKASA® HAND BALL

完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性、このミカサの“完璧なボール”が生産量、輸出量ともに日本一、また世界屈指のビッグメーカーにしました。

日本ハンドボール協会検定球  
 明星ゴム工業株式会社  
 広島・東京・大阪・福岡・名古屋・札幌

進めたのに、得点の方は日本ビクタリーが3分に江川、21分すぎに蓮見妹と決めて2点をあげた。

後半の開始直後、ビクターの江川が再度得点のあと、田村紡が2分すぎ久保田、広森で連続ゴールしてビクターに追った。

その後試合は激しいせり合いが続いたが、19分にビクターの富山がダメ押し点をあげ試合を決め

○……初の予選トナメント・決勝リーグ制(注・女子は第17回大会でいちど採用)は成功した。

オリンピック予選での快勝という好材料も手伝ってはいたが、全期間の盛りあがりを感じられたのは精鋭主義の所産とみたい。

一回戦からワクナガ薬品(大阪)×大阪イーグルス、スワロー兵庫

×法政大(東京)×以上男子、大崎電気(埼玉)×日体大(東京)、東京重機(東京)×東京教大×以上女子といった好カードがファンを喜ばせ大会の雰囲気を高めた。

○……昨年までの32チーム参加(男)から一気に半数にしまったことに対し、一部で批判はあったようだが仮にもナショナルチャンピオンを決めるとなれば、今回の数字は妥当なところだ。

将来、ヨーロッパ各国の採っているトップ・エイトのリーグ戦形式に進むためにも貴重な第一歩を踏み出したといつてよい。

○……初めて、ということで見逃

た。(毎日新聞戦評から)

ブラザー、後半の反撃遅し

日本ビクタリー 6 (5-1-3) 5 工業

○……点差のワリには、手に汗を握る場面が少ないというが、ジレットタイというかたにかくスカットしない試合だった。

前半、両チームともシュートチ

されたものの改良すべき点も多い 特に「全日本総合選手権規程」の成文化はすぐににも着手しなければなるまい。権威づけという意味からも必要であり、本来なら今年にまにあわせるべき筋あいのものだった。

成果あった “精鋭” 主義

今回はいわゆるタテ割りー加盟団体が基準とされたが、このため二つの課題が生じている。

○……一つは第一次推せんチームが辞退または棄権した場合に繰りさげを行うことによるレベルダウンである。

例えば全日本実連代表の三番手住友化学菊本(愛媛)の辞退で本田技研(三重)が推され、和歌山

得0 0300200  
藤 浪居田塚村 川  
【工】佐 藤島藤長金 原

GK F.P 審・千野  
P 審・千野

【日】 姉川櫻妹塚山  
【日】 見重見  
【日】 連江八連大富  
得0 211011

ヤンスは数多くありながら、今一步の決定打が出ない。

○……第二は日本協会の「組織」が一部を除いてまったく無視された点だ。組織の代表となつたのは男子は開催地1チーム、女子は開催地と次年度団体開催地の2チームのみである。これでは「日本協会は組織を軽視し、加盟団体偏重にすぎるといわれても仕方がない。

協会内部でも「前年度優秀1、加盟団体推せん5、プロック代表9、開催地代表11計16」がノーマルな数字という反省があるようだ。

このほか観客動員、競技委員と競技者(監督、コーチ、選手など)との兼務なども改善の余地を残すものといえる。(S)

6 (0) 7 MT (1) 5

ビクターは蓮見姉が良く決めて2点差で後半を迎えた。

後半のブラザーは見違えるばかりの動きを示した。守っても、良くボールにつめ、ビクターにチャンスらしいチャンスをはほとんどあたえなかった。

攻めても、金村がミドルのアンダーシュートを試み、成功するなど、前半とはうってかわって、ブラザーペースになった。守りはま

ず完全だし、容易にビクターの追加点は許しそらもない。攻撃は歯車がまらず噛みあっている。逆転は時間の問題と思われたが、肝心のシュートがバーやキーパーにあたってしまう。もどかしさと焦りも手伝い、結局はビクターに逃げこまれてしまった。

両チームとも初栄冠がかかっていたせいか、今一步の迫力にかけた。

(藤本)

決勝リーグ勝敗表

(男)	電ナ	大	ワ	日	三	P	得	失
①	大	ワ	日	三	●●●●	5	36	22
②	電	ナ	大	ワ	●●●●	4	34	24
③	日	三	電	ナ	●●●●	3	34	28
④	三	電	ナ	大	●●●●	0	28	58
(女)	ビク	ブラ	田	村	紡	P	得	失
①	ビク	ブラ	田	村	●●●●	4	10	7
②	ブラ	田	村	紡	●●●●	2	13	11
③	田	村	紡	ビク	●●●●	0	7	12

Pはポイント(勝ち点)

関東一円をネットする…ワイドサービス

医薬品全般  
高級化粧品

健康から未来をひらく

株式会社 日進商会

### 三菱鉛筆に恩返し

#### 初優勝のビクター

○……ハチ巻き姿の応援団が歓声をあげ、踊りださんばかりに喜んでいて、選手も涙を流し、しばらくは言葉もかわさぬ沈黙がつづいた。

初優勝の感激、それだけではなかったのだ。

御承知のファンもあるだろう。優勝の原動力となった蓮見姉、江川、八重樫、阿部らは一昨年まで池田鉄哉監督(芝工大OB)の卒している三菱鉛筆(神奈川)の主力として活躍した選手。昨年春、会社側の事情で廃部が決まり、ハンドボール界から姿を消した。

○……実業団球界のAクラス、当然他のチームから入社した声がかかり、大学進学を打診された選手もいた。しかし「これまで苦労をともにした人のことを考えると単独行動はとれない」とほとんどの選手が故郷にもどる手続をしたのだがその矢さき、チーム結成を企っていた日本ビクター(茨城)から「全員入社」を呼びかけられたのだ。

○……捨てがたいハンドボールへの愛着と前の会社への義理。円満退社とはいえこの板ばさみは乙女

## 全日本総合に拾う

心を悩ませた。彼女たちを「決心」させたのは三菱鉛筆時代の部長・猪狩武春氏の「三菱で果せなかつた全国優勝の夢をビクターでかなえてごらん」という暖かい一言。

アマチュアスポーツ界でも異例という監督以下主力全員の転籍がこうして実現した。

○……三菱とビクターへの恩返し。池田監督、選手たちの「負担」は以前よりむしろ厳しくなった。それに打ち勝つての全国優勝、スタンドの一角で見守る猪狩氏の姿が印象的だった。

「引退」を一年延ばして頑張った蓮見姉と江川。お嫁いりも近いという。二人の手に握られた優勝メダルは勝利の女神が贈ったなにも優るプレゼントである。

「〃〃〃」女子の大学勢が第1大学勢 日で全滅。これには

日本協会役員もガツクリしていた。今大会は実業団が主力を欧州に送りこんでおり、「鬼のいぬま」の好機(?)だったのだがその期待も裏切られた。

実業団のある若手は「どんな場合でも大学には負ける気がしない」と強気だし、東女体大を一蹴した高枝チャンピオン山陽女高も

「胸を借りるつもりでしたが……」と期待はずれの表情。大学チームが第一線に飛び出すのはいつの日のことだろうか。

「〃〃〃」新システムの採用でクラブチ男子2(AOK栃木)ム散る 桜丘会、女子1(徳山OG)のクラブ代表のほか女子に美和ク、鹿兒島クと合わせて5つのクラブが登場。いずれも第1戦で善戦及ばず散ったものの恵れぬ条件をのりこえての試合ぶりはさわやかな印象を残した。

どのクラブも「実業団や大学チームをてこずらせれば充分」と割り切っていたが、主力はいずれもかつて槍舞台で活躍したキャリアの持ち主。なかでも早川、杉山(旧姓笠原)、黒川、加藤、GK田口(旧姓川崎)ら往年のナショナルプレイヤーがエントリーした美和クは優勝した日本ビクターを窮地に追いつめる活躍でスタンドの拍手をあびていた。

伯仲の ショナルプレイヤー16 個人技 人のうち有永、斉藤、大村を除く13人が久々に自チームから登場、スタンドから「さーす」の声があつた。

木野(ワクナガ)×GK本田(大阪イーグルス)の「対決」をはじめ大崎×大同、ワクナガ×大崎戦では激しい個人技の応しゆうがいやが上にもムードを盛りあげた。

スタープレイヤーの巧技、妙技がみどころの一つになるなど日本ハンドボール界の成長を物語るものでもあった。

「〃〃〃」男子優勝をかけた大後半1点 崎電気×ワクナガは「〃〃〃」まれにみる肉弾戦。

後半の得点がワクナガの一点だけ、それも7MT。フィールドゴール両軍0という珍記録はちよっと前例をみつけ出せない。

23頁より続く

有の練磨に加うるに実戦の経験を上積みしかつ消化吸収し、ミュンヘンオリンピックは既に始まっていると考え、仮想敵国の研究に旺盛なる意欲を燃やし、最善の手段をもって東洋の離れ小島の不利を克服する努力を示してもらいたい。各位常に日本ハンドボールの最重要構成員たる責任を自覚し、致々として努力し、実力の満を持して放つべきミュンヘンオリンピック大会に備えてこそはじめて全国の愛好者にその大任を果すことは証明出来るのである。

天は唯平素の鍛練に努める者に對しては戦わずして勝利の栄冠を授けると同時に、一勝に満足してお山の大将に安んずる者からは直ちにこれを奪い去ってしまう。古人曰く、「勝つて兎の緒を締めよ」と。(投稿)

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使はれて居る!

セ下9一男



サービス部  
新宿区新宿2丁目電係前  
TEL (341)2979・1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6  
TEL 本所 (622)0746

合織糸・合織混紡糸



# 田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17

TEL 四日市 6-2156 (代表)

郵便番号 512

# 日本に新たな責任かかる

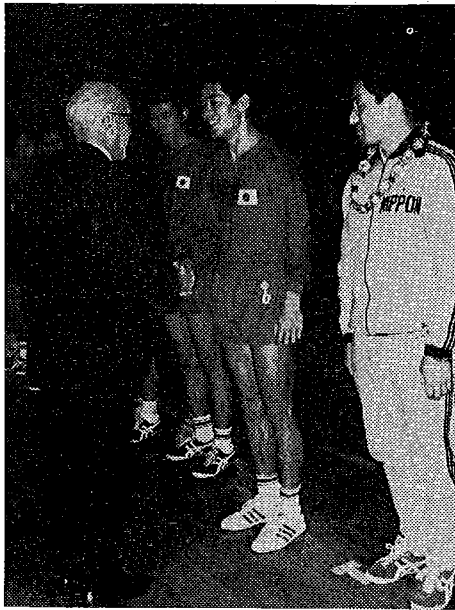
～アジア代表権を獲得して～

久

田

暁

関係者が大変な苦勞をして日本ではじめて開いたオリンピック・ハンドボールのアジア予選はその甲斐あって感激の日本優勝ということと幕を閉じた。IHFの技術委員長エミール・ホルルさんが終了の時、村田監督、竹野コーチ木野主將にそれぞれ記念のレイを首にかけて両こぶしを握って高くかかげた時、ミュンヘンへの実感がぐっとこみあげてきた。そして田村



認定式で木野主將を祝福するホルル委員長(左)

会長らの胸上げ、日本ハンドボール関係者の誰もが理屈と恩しゆうを越えて待ちに待った瞬間であり子供のような純粋な感激の涙に思わずむせんだ一時であった。スタンドではイスラエル選手団もおしめない拍手を送っていた。その時はイスラエルと韓国の団長が私に語ったことばをふと思ひ浮かべていた。ムクシー団長は日本が4年間もナショナルチームの強化を

続けていることにおどろきその恵まれた環境をうらやましがっていた。国家が非常時にあるイスラエルはスポーツのために多くの時間と経費をかけられずナショナルチームの強化は二年にも満たないことだった。一方、朴団長も長身者をサッカー、バスケ、バレーの種目にとられ小型チームの悩みを訴え、また大学選手は卒業と同時に全員三年間の軍隊生活に入るため男子実業団チームの育たないこと、日本の自衛隊とちがって北韓国(と彼らは言う)との緊張の対しよが常に続いている中で韓国の軍隊はスポーツなどやる暇もなく軍事訓練に明け暮れている。勢い高校生まで編入してナショナルチームを作らねばならぬ状態でありイスラエル同様、国家の色々の事情がからんで長期にわたるナ

ショナルチームのまとまった強化はむずかしいと語っていた。こうした各国の苦しい事情の下に行なわれた本予選大会はいわばアジアハンドボール国同志の血のにじむような苦勞を乗り越えて実施されたものでありアジアのハンドボールの友が固く手を結んで共に発展する礎を築いたということと、まことに画期的であり意義深いものであった。彼らはみな素朴で純情なスポーツマンであり紳士だった。大会の終るころには言葉の壁を乗り越えて両国は心を通い合わせお互いに敬愛している様子がほほえましかった。できることならイスラエル、韓国、日本の3国が手を取りあってミュンヘンに行きたい気持ちにかられたのは私だけではない。まい。大会最後の夜サヨナラパーティで友好の輪に花が咲いた。予選でしのぎをけずったハンドボールの友が一同に会し明るいふん

きと健康な笑いが絶えず、IHF役員のあいさつが一際厳肅なひびきをもった。ヨーロッパにくらべてすべてが幼いという感じのアジアのハンドボールの成長への努力をまのあたりに見てIHFの方々も暖い心で声援し見守って行っているだろう。また、韓国朴団長は次のようにあいさつされた。  
「日本がアジアの代表となったということは韓国、イスラエルを代表していることでもあり、ハンドボールにおいて後進性のあるアジア諸国のためにオリンピックでは十分に活躍してアジアのハンドボールの存在を示してほしい」アジアでの先輩国日本の使命と責任は一層大きくなる。そして一日も早く世界の一流ハンドボール国となるのが日本の目標である。オリンピック選手に続く若手有望選手が続々と育つことを願ってやまない。(日本協会国際部長)

## 再び全日本を激励する

光

島

磯

雄

幾十箇月の長期にわたる全日本チームの育成強化事業ははや昭和四十六年の過去のものとなり、ここに全日本チームは今やその所期の任務を終了し新たな段階にむかって再出発の道を歩むこととなっ

た。しかしながら我々ハンドボール愛好者の全日本チームに対する責任は決してこれがために軽減されたのではない。過ぎ十一月の決戦の成果を永遠に強固なものとし、なおますます日本ハンドボー

ル界の隆昌を維持促進するために、オリンピックの年であるとな否を問わず、倍旧の後援会活動に総力の結集を惜しむものではない。日本ハンドボール界の記念すべき一九七二年の年頭に際し、拙筆ではあるが、再び激励文を綴らせていただく。他山の石として捨てていただければ幸と考える。競技力なるものは、体格、体力、技術の習慣的進歩のみをいう

のではなく、これを臨機応変に活用する無形の実力をいうのであって、一発必中のシューターはよく十発一中のシューター十人に勝ることの真意を理解し、競技力を常に可視的狀態に發揮出来るよう心がけなければならぬ。十一月我が全日本チームが勝利を得たのも指導陣、選手各位の平素からの研鑽練磨がその因を成し果をもたしたものであって、もしそれをもって将来を考るときは、代表決定戦が終った今日といえども安閑として休憩の気分には浸ってはならぬのである。

上の樓閣の如く、暴風一過たちまち崩壊するであらう。この点深く考えてもらいたいものである。思ひ起すべし、六月のNHK杯大会における拙劣な戦いぶりを、また九月の対スウェーデン戦における非力を!!。あのときと今とはちがうなどというなかれ、今にいたるも多くの愛好者は八十パーセントの信頼をも信託するには不安定な要素のあることを知っているのである。

欧州に眼を転ずれば、現今の各強国すべてその民族、国家の歴史的背景のもとにその力を保持し、常時試合、常時練習の気構えによる実力の向上に努力していることは明々白白である。またアジアに眼を向けても、現在の複雑なる国際情勢がスポーツに及ぼす影響ははかり知れぬものがあるが、我々は常にそれを予察しなければならぬのである。過去に強かった国が弱くなり、またその逆の国のある事例は古今東西の歴史の示すところ政治のもたらす要素が多いこととは事実であるが、基本的には常に競技場にありの心境、緊張を保つ度合が民族の資質からみて高いか低いかによる自然の結果にやらぬものはないのである。端的に言うならば、執念深いかどうかによるといえる。

各位よ。多忙であらうが欧州各国(假想敵国と考えて)の歴史

風土、民俗に関する関心興味をも持たれよ。たとえばハンドボール発祥の地とされるドイツを考えることによっても、おのずからロシア人、フランス人、北歐、東欧各

### 不振だった東京4戦の反省面

アジア予選における東京大会の観客動員数が「話題」になっている。すべてに順調、大成功をおさめた。これを唯一といつてもよい反省点であり、今後の課題として考えなければいけ

大会入場者数	3,900名	3,700名
大阪	1,400名	4,500名
名古屋	4,000名	
東京		
第1戦	(日—韓)	(日—韓)
第2戦	(日—韓)	(日—韓)
第3戦	(日—韓)	(日—韓)
第4戦	(日—韓)	(日—韓)
大会	(日—韓)	(日—韓)
入場者	(日—韓)	(日—韓)

ないだろう。  
韓国×イスラエル戦の不人気は前売券の状況から推してもある程度予測はできたが、それすらも下回る数字であった。  
しかし、なんといつても東京大会の低調は国内ファンの動員に原因があった。  
特に第1戦が七分の入りに残ったのはショックで、しかも、強制的に入場券を買わされた」という声が耳へ入るに及んで協会役員はいっせいに頭をかかえていた。  
千円、五百円の入場料、ほか

国の民族性に由来するハンドボール性格の一部といえども把握出来るのであって、しかもこれこそ各位の競技力向上の一策としての重要な役割を果すであらうことを確

に中高校生三百円(第1・2戦)というのは日本協会の台所、"オリンピック"というキャッチフレーズ、さらには総務企画部が青少年の日常消費資料まで持ち出している数字であった。無暴な額とは思えない。  
第1戦の前売券が都内のファンよりダイレクトメール予約による地方のほうによく伸びた傾向もみつまなおさなければならぬまい。

つまり「東京における不人気」である。  
ハンドボールを自ら進んで見に行きたい、見たいという層が大坂・名古屋に比べて東京は少ないのだろうか。  
そうではない。当日のTV中継視聴率は東京、大阪、九州、名古屋の順であるし、視聴者の年代もNHKの調べでは東京地区はホワイトカラー、高校生、大学生の順であったという。  
会場まで足を運ばせる力がやはり欠けていたということになるか。大阪協会や愛知協会の

言してはばからない。そしてもう一つ、内外の「戦史」を読むことも有益であると申し上げる。  
全日本チーム各位におかれては、これらの事例を鏡として、既

役員はズバリ「東京の日頃の一般対策の欠如」と指摘する。  
また、東京大会だけ日本協会の「自主興行」という変則的なシステムを採った点にも反省が残ろう。  
「汽車賃を使ってわざわざ見に来たのに東京の関係者やファンはいつたいどうしたのですか」とげげんな顔というよりも情けなさそうな顔をした地方の愛好者の声を素直に聞かねばいけない。

首都における人気、不人気の差は有形、無形の影響を及ぼす。  
団体動員をして頭数(あたまたかず)だけを揃えればよい、という時代ではなくなった。とすれば日本協会のおヒザ元での盛りあげがりをいかに上向きにしていけるかが斯界全体の課題ともいえるだろう。今のままでは世界選手権の誘致どころか、三国対抗程度の国際大会ですら開催能力はないとしなければならぬ。

(X)



# 役員若返りと 体質の改善

～日本協会～

の力でたくましく支えていたこと  
もはっきり感じとれた。

問題はこのムードをどう持続さ  
せ、さらにいっそう「ハンドボー  
ルの位置」を高めさす努力に結晶  
させるか、だろう。

□……その一つの「形」として  
「新旧交替はこの機をおいてほか  
にない」という声がある。

たしかに、日本協会の施策はマ  
ンネリズムにおちいつているし、  
新鮮な企画力にも乏しい。あまり  
にも「過去のケース」を持ち出さ  
れすぎるのも弊害だ。これを打破  
するには新しい感覚の投入が唯一  
無二の「特効薬」である、

□……ここ一、二年理事陣にも若  
い人材が登用されているが、それ  
でも全般的な印象はフレッシュと  
映らない。

若返り説の急進派は杉山常務理  
事だ、という。面白いことに彼は  
現執行部でも若手なほうだが「ま  
だ不足」としている、

彼の意見は「私自身も含めて旧  
人が城をゆずる時期に来ている  
と思う。国内が7人制に統一され  
てはや9年経った。統一後に学窓  
を卒えた若いOBの数は充分なハ  
ズだ。彼らに日本協会のさい配を  
揮はせてみたらどうか。日本協会  
の役員は中央地方を問はず、あま  
りにもややこしい人間関係の糸で  
結ばれすぎている。これをほどく  
必要もないがそのまま放っておい

てはなおいけない。アジア予選の  
勝利は古いOBの結束した勝利で  
あり、若い時代へこれほどいい  
「遺産」はない」と断言する。  
□……若返りには心配がつきもの  
だ。

スポーツ界はよきにつけあしき  
につけ「頭」がモノをいう。  
新しい役員登用は、せっかく  
築いたベテランの利点を白紙に戻  
し、何かと不利にならざるを得な  
くなる。

また、交替当初はとまどいもあ  
って一時期は足ぶみどころか退歩  
する「期間」もあるだろう。しかし、  
その取り返しは容易だし、意義が  
あるのではなからうか。

□……今のところ新旧交替に関し  
て表立った動きはないが「ミュー  
ン出場」が旧人たちの勇退のこ  
ころの時代であることは、一部  
のベテラン理事たちも口にしてい  
ることだ。

それは「自分たちの時代は終つ  
た」というニュアンスではなく、  
「35年かかってオリンピックまで  
こぎつけた。あとは頼むぞ」の心  
境である。

□……新しい感覚を投入して日本  
協会の体質をどう変ぼうさせるの  
か、何故その必要があるのか、新  
旧交替は急がず「時」の解決を待  
つべきだという声もある。

多くの読者が抱かれる疑問でも  
あろう。

人脈の清算、国際感覚の盛りこ  
み、新しい企画の実行、長期的な  
事業のスタート……。

いうまでもなくこれは日本協会  
の体質そのものである。

極言を許されるなら旧人が勢力  
を得ている間は、一部の、散発  
的にこれらの課題が解決されても  
しっかりと大地を踏まえて根がおろ  
されることの可能性はうすそう  
だ。

□……アジア予選での勝利、ミュー  
ン・ヘン・オリンピックへの出場で斯  
界はこれまで以上に激しい世論に  
取り囲まれるであろう。

その時に旧態依然の体質をベー  
スにした日本協会運営でよいのだ  
らうか。ノーである。

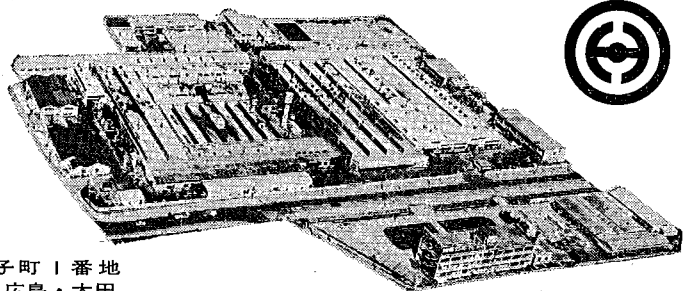
現執行部が積極的、意欲的な  
「連帯感」をもって体質改善に乗  
り出さぬかぎり、ヤングパワーの  
進出を望む声は日増しに強くなる  
であろう。

同時にこれまで学連、高体連、  
実連、教職連、自衛隊連といった  
タテ割り、ともすれば組織であ  
る地方協会より重視されて来た風  
潮もここで是正しておく必要が  
あるのではなからうか。

現役員任期はあと1年2ヶ月  
来春4月には地方協会もふくめて  
かなり大幅なスタッフの若返りが  
実現されるとみたい。  
それが「モンテリオール対策」  
の第1歩になるかもしれない。

# NHK SPRING

## 日本発条



本社／横浜市磯子区新磯子町1番地  
支店／東京・大阪・名古屋・広島・太田

## 「日本リーグ」は 実現されるか

□……これまで何回か噂が流れ、いつのまにか立ち消えになっていく「日本リーグ」問題。この上げ潮の時を逃しては二度と旗あげのチャンスはないだろうといわれているが、果して実現へ歩みを進めることができるだろうか。

結論から先にいえば、本誌が取材した範囲では、そうした動きはいぜん煮つまった状態ではなかった。

□……日本リーグ問題は43年2月の全国評議員会で全日本実連に一任され、同連盟ではその年9月「女子開催、男子見送り」という結論を出し、日本協会あてその旨の答申書を提出した（関連記事・本誌58号参照）

ところが、それ以後いっこうに進展していない。

問題を委託しながら答申書その

ものの審議さえしていない日本協会のずさんさは責められるべきだが、当時「日本リーグはもう少し時機を待ってから」というムードがあったことも確かだ。

□……「待っていた時機とは今をおいてあるまい」——開催論が再燃したのも当然であり、4年前の時点よりも周囲の条件が「好転」していると考えられるのも誤りではないだろう。

地方の関係者やファンの間には以前から「トップチームの対戦を見たい」「バレーボールと肩を並べる意味でも……」と日本リーグ待望の声は強く、それにプラスしてのオリンピックムードである。

□……日本リーグのメリットは多い。頂点強化にはかっこうだし、ファン獲得にもつながる。

プレイヤーなどいわゆる「現場」からも「強チーム同士の試合」を望む声は高まっており、有力実業団が一堂に会して手合せするケースや、大学×実業団の定期戦などが、ここの二、三年目立っているのもそうした傾向のあらわれといえなくもない。

またメンバー不足に悩む実業団の監督のなかには「日本リーグに出場することで新人部者の勧誘が容易になるのでは……」と期待する声もある。

□……飛び出す態勢充分でありながら、さぐりをいれると逆な結果

が出てくる最大因は予算の裏づけがあと一歩見込めないからだ。

現在、国内スポーツ界では日本リーグを実施しているのはサッカー、バレーボール、バスケットボール、アイスホッケー、女子ソフトボール、アメリカンフットボール（社会人）の6競技。いずれも多くの観衆を動員して競技収入をあげ、テレビ局からもかなりの放送権料を得ている、と伝えられる。

ハンドボールの場合、この両面に限界があるようで、実現しても参加チームがかなりの経費を持ち出さなければならぬ。

「学生チームはとでもつきあいきれない」（田中中大監督）だろうし、実業団側も大半のチームは今のところ「額にもよるが、そこまでして……」といったムードが強い。

□……3年間にもうひとつ大きな流れの変化があったこともこの問題を「ふりだし」に戻した一因になっている。

女性上位からはっきりと昨秋の境に男性上位となった点である。

前掲の答申書提出時点では、まだまだ男子は学生界が主流であり、東西をはじめ各地の学生リーグが十分に日本リーグの長所を備えていた。ところが短い期間で男子も実業団上位時代が出現、さらに期待された全日本女子が世界選手権（別掲）を不本位な成績で終

ったことも重なり形勢は逆転した。

□……日本協会会長であり、田村新（三重、全日本3位）のオーナーでもある田村正衛氏は「仮に日本リーグができて男子優先であろう。女子は一步後退だ、実力的にも大洋デパート（熊本）はともかく、他のチームはファンを集められないだろう。その点男子はオリンピック予選をピークとしたナショナルチームへの関心で、よい意味でのスターが輩出、しかも各チームに分散しているのはいい」といっている。

田中全日本実連理事長も同じような意見だが「女子実業団は会社側の全面的理解の上に立っているチームがほとんどだが、男子はまだそこまでいっていないチームも多い。リーグを行うには最低6チームは必要だし……との心配もある。こころあたりがやはり、ネットワーク」なのだ。

荒川理事長をはじめ日本協会員脳陣も誰もが「ぼくぞんとはしているが」と前おきして「今はまだムリじゃないかね」と異口同音にいっている。

ちなみに2月の全国会議（理事会・評議員会）の議題に日本リーグに関する件は一つもない。

さわやかなバブルガム

アイスクリーガム BUBBLE GUM

オレンジ アップル ストロベリー パナナ パインアップル グレープ



カバヤ・リーフ株式会社・岡山市下石井1-2-3

# 立ち遅れている

## 『女子対策』

重の犠牲」という言葉はきつすぎ  
るにしても「女子に目標が少な  
ざる」のは事実。

□……日本の女子への評価は高い  
世界選手権で最下位に終わったこと  
は、国際連盟筋やヨーロッパ関係  
者の間でも「意外」という声が強  
かったようだ。それだけに国内の  
女子対策の遅れがここで大きな課  
題にもなるのである。

山田計全日本女子監督の帰国談  
は「日本は近い将来、かならず世  
界の王座を狙える」と強気だが  
「しかし」と宇津野年一、井薫両  
コーチ、男子のような長期的な強  
化対策をとることが条件だ……。

今回の場合、女子としてはかっ  
てない強化合宿をつんだが、やは  
り男子のオリンピック対策と並ん  
ではいろいろなシワ寄せが生じて  
くる。しかも、これは日本の女子  
強化にとつて宿命的なモノになり  
そうな気配。

□……IHF  
が開催サイク  
ルを変えない  
かぎり国際行  
事は別表のよ  
うになる。  
女子はどう  
しても男子の  
あと、あとを  
追いつけない  
強化も男子優  
先になるのか  
一部に噂され  
る男子世界選  
手権

1972	権権	一権
1973	選手	選手
1974	選手	選手
1975	選手	選手
1976	選手	選手
1977	選手	選手

□……世界選手権(12月・オラン  
ダ)へ負いこんで送った全日本  
女子が1勝もあげ得ずに終わったこ  
とは日本協会関係者に大きなショ  
ックを与えると同時に、「女子問  
題」をふり出しへ戻すきっかけに  
もなった。

ここ数年、斯界は「ミュンヘン  
ミュンヘン」に明け暮れ、女子の  
立ち場は片すみに押しやられた感  
じ。一九六八年のモスクワ大会が  
流れた不運も手伝った。

□……このリズムを女子主体に置  
きかえるには女子界自体の力以外  
にない。

□……いづれにせよ国内の女子対  
策を改めて一から考えなおす時機  
を迎えたことだけははっきりして  
いるようだ。その作業をとおりに  
して、頂点世界にばかり目が注が  
れてしまつては拙い。国内におけ  
る試合数の増加もテである。

全日本総合選手権も女子だけは  
予選トーナメントの敗者で順位リ  
ーグを行うとか、学生界も旧態依  
然の大会に甘んぜず積極的に「前  
進」を企らねばなるまい。

□……日本協会内に女子専門部  
(仮称)を独立させ、女子に関す  
るあらゆるプランニングをそのセ  
クションで運行させることもよい  
のではなからうか。あれこれ考え  
るよりこの際、現場の意見を吸い  
あげることが最善の方法と思う。  
「ポスト・アジア予選」は今月号  
で完結します。(編集部)

日本ハンドボール協会検定球

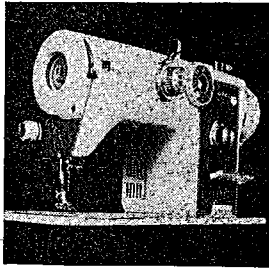
# モルテン

## 電甲型 ハンドボール



モルテン工業株式会社  
広島・東京・大阪





# 鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髓がある

■ジューキマシンは精密工学の結晶とうたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。



## ジューキ

東京重機工業株式会社

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
海外トピックス

杉山 茂

ルプキング復帰の可能性

現代最高のプレイヤーといわれる西ドイツのヘルベルト・ルプキング(30才)がナショナルチームをしめ出されて1年余が経ったが、最近再びカムバックが噂され、ヨーロッパの新聞を賑わしている。ルプキングはこれまでにナショナルプレイヤーとして公式国際試合に115回出場、500点をあげている名選手だ。ところが一昨年夏、それまで所属していたGW・ダンケルセンから突然ネットルシュタットに移籍、ナショナルチームのフット監督は事前に相談もなくナショナルプレイヤーがクラブを替えるのは不謹慎だとしてルプキングを「除名」してしまつた。

この裏には多額の移籍金が動きアマチュア問題に低触する疑いが濃かつたからとも取り沙汰された。

一方、彼一人を欠いただけで西ドイツの戦力はガタ落ち、ファンも敗戦のたびに「ルプキングを戻せ」と騒ぎ、一部の新聞も「ルプキングがいなければ西ドイツはミューンヘンでメダルの狙えない」と報じるなどした。

西ドイツ協会は再三にわたって復帰問題を話しあい、ミュンヘンオリンピック組織委員会まで乗り出す一幕もあったフイック監督を支持する空気が強く、ルプキングのカムバックは望みやすとみられていた。

しかし、今シーズンに入っても西ドイツの成績はいっこうに伸びず、頼れるポイントゲッターもシユミット(ゲンメルスバッハ、昨春来日)一人で、彼がマークされると動きがとれないという拙攻、ルプキング復帰を望む声がいっそう強くなった。1月末西ドイツ技術委員のクラッツ委員長がルプキングと話し合つたと報じられ、同選手のナショナルチーム復帰を一步進めるものとして注目を集めている。

ゲンメルスバッハ

3連勝へ前進……欧州杯

各国チャンピオンチームによる第12回男子ヨーロッパカップはこのほど準々決勝が終了、ベストフオアに史上初の3連勝を狙うゲンメルスバッハ(西ドイツ)のほか

タトラン・プレソフ(チェコ)、バルチザン・ブジェロバル(ユーゴ)マイ・モスクワ(ソビエト)が勝ち残つた。順当な顔ぶれといえるが、いづれも苦戦の末の進出、特にゲンメルスバッハはオプサル・IFオスロ(ノルウェー)との準々決勝第1戦を13-18で落とし6点差の挽回は不可能とみられた。第2戦は12月19日ウエストフアーレンに一万をこす大観衆を集めて行われゲンメルスバッハはシユミット、フェルドホフ、ベストベ(いずれも昨春来日)らで着実にリードを奪つたものの5点差がやっと残り1分で18-13と愛色濃かつたのだが29分30秒フェルドホフが起死回生の1点をもぎとり19-13。2試合合計点を32-31とし辛くも準決勝への名をあげた(注・2試合の得点と同じ場合は第1戦の勝者が勝ち)。

マイ・モスクワは2回戦でGW・ダンケルセン(西ドイツ)を12-11、13-11で降した余勢をかい準々決勝でもヘルラス・ストックホルム(スウェーデン)を13-9、12-9を連破、エース・マキシモフの好調が目立っている。

ユーゴ、東ドイツおさえる

シユエリン・カップ

東ドイツ恒例のクリスマストーナメント・シユエリンカップ国際大会は12月19日から6日間シユエ

リン、ロストック市などで行われた。

参加5ヶ国(6チーム)はいずれもすでにオリンピック出場権を獲得した強豪、期待どおりの熱戦がつづいた。

優勝は最終戦のユーゴ×東ドイツにかかり、前日まで全勝の東ドイツが、得失点差勝ちをもくろむユーゴを上廻るとみられたのだがユーゴはラザルヴィックを主軸とした攻撃陣が前半から快調にとはして主導権を握り、東ドイツを押し切つて初優勝した。

この大会の得点王は34点をあげたF・ハンセン(デンマーク)、以下ファルック(東ドイツⅡ)、ブルナ(チェコ)、ロスト(東ドイツ)ガンショウ(東ドイツ)の順。

ユーゴ	20	10	10	16	14	チェコ
東ドイツ	18	9	9	6	8	デンマーク
東ドイツ	14	6	8	1	5	ハンガリー
ユーゴ	16	7	9	1	7	ハンガリー
東ドイツ	20	6	14	1	11	東ドイツ
チェコ	24	11	13	1	14	デンマーク
東ドイツ	14	7	7	1	4	チェコ
ハンガリー	13	8	5	1	7	東ドイツ
ユーゴ	22	14	8	1	8	デンマーク
東ドイツ	13	7	6	1	4	ユーゴ

《本格派》

# デサント

スポーツ服装

●ハンドボール ●ベースボール  
●ゴルフ ●スイミング ●スキー

## 純競技仕様

＝すぐれた機能は美しい＝

デサント製品はすべて本格派の名にはじない《純競技仕様》……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

**THE BEST**  
for typical sportsmen

original by

**DESCENTE**

スポーツ服装専門メーカー  
株式会社 デサント

ハンガリー 20 (1010) 13 6 19 チェコ  
 東ドイツ 15 (11) 4 5 9 デンマーク  
 チェコ 11 (6) 5 10 東ドイツ  
 ハンガリー 18 (8) 7 10 17 デンマーク  
 ユーゴ 16 (5) 11 3 11 東ドイツ

ユーゴ、好調をつづける

～スウェーデン国際～

その名も「ワールド・カップ」というビッグトーナメントが11月末スウェーデンで行われた。

ヨーテボルク市350年記念国際大会がそれで現世界チャンピオンのルーマニア、元チャンピオンのスウェーデンとチェコをそれに東ドイツ(世界2位)、ユーゴ(世界3位)、ソビエト(世界9位)、スペイン、ノルウェーの計8ヶ国という豪華な顔ぶれが集った。

連日五千をこすファンを熱狂させたが結局ノンタイトルのユーゴがルーマニアを降す皮肉な結果となった。ユーゴの主力はラブルニク、ミルコビク。地元スウェーデンは辛くも5位を確保したものの日本遠征後どうも調子がよくない。

ノルウェーが東ドイツと引き分

けたのも注目されよう。

▽予選リーグA組

ルーマニア	19	13	チェコ
スウェーデン	20	9	スペイン
ルーマニア	16	14	スウェーデン
チェコ	18	17	スペイン
ルーマニア	25	9	スペイン
チェコ	15	12	スウェーデン

▽同B組

ノルウェー	12	(分)12	東ドイツ
ユーゴ	15	11	ソビエト
ソビエト	17	16	東ドイツ
ユーゴ	13	11	ノルウェー
ユーゴ	18	16	東ドイツ
ソビエト	19	13	ノルウェー

▽7位決定戦  
 ノルウェー 21-14 スペイン  
 ユーゴ 15-12 東ドイツ

▽3位決定戦

ソビエト	15	(8) 11 5	12	チェコ
ユーゴ	17	(5) 8 11 5	14	ルーマニア

東ドイツ第2チーム勝つ

～トビリシ・トーメント～

恒例のトビリシ(ソビエト)国際トーナメントは12月ギオルヂエで行われ、東ドイツ第2チームが延長の末ルーマニアBを破って優勝した。

ブルガリアとオランダ以外は各

国とも若手中心のナショナルチームを参加させた。東ドイツ第2チームはシユエリンカップ(前掲)でもユーゴ、デンマークなどを破っており同国の選手層の厚さを物語っている。

▽予選リーグ主な成績

ルーマニアB 18-17 東ドイツII  
 ユーゴB 19(分)19 ウクライナ  
 ルーマニアB 22-12 オランダ  
 東ドイツII 21-20 ソビエト新人  
 ギオルヂエ 21(分)21 ブルガリア

▽準決勝

東ドイツ 18 (7) 11 6 11 17 ユーゴB  
 ルーマニア 20 (8) 12 7 7 14 ギオルヂエ

▽3位決定戦

ユーゴB	23	(8) 15 11 8	20	ギオルヂエ
東ドイツ	17	(7) 5 11 7	14	ルーマニア

▽決勝

東ドイツ	17	(7) 5 11 7	14	ルーマニア
ユーゴB	23	(8) 15 11 8	20	ギオルヂエ

アメリカ、欧州を転戦

積極的な強化にのりだしたアメリカは11月末からナショナルチームをヨーロッパへ派遣した。オリンピック予選(別掲)に備え着実に力を伸ばしている感じである。

アメリカ	28	17	アメリカ
アメリカ	19	15	ベルギー
ブルゲン	19	17	アメリカ
アメリカ	23	21	パリ選抜

都市対抗でパリ市勝つ

国際4都市対抗は1月西ベルリンで行われアグーニユ、リラルジュエ、リグナクラナショナルプレイヤーを中心としたパリ市が地元ベルリン市をおさえて優勝した。国際都市対抗が開かれたのは久しぶりのこと。

ベルリン市	9	4	チュエリツヒ市(スイ)
パリ市	12	5	ストックホルム市(スウェーデン)
ストックホルム市	11	5	チュエリツヒ市
パリ市	7	5	ベルリン市
チュエリツヒ市	9	8	パリ市
ストックホルム市	8	(分)8	ベルリン市

【順位】①パリ市②ベルリン市③ストックホルム市④チュエリツヒ市  
 ルーマニア チェコはこのほどXチェコ戦 プラハにチャンピオン・ルーマニアを招き2試合を行ったが勝ち星はあげられなかった。グルイア(ルーマニア)は2試合で9点をあげていぜん健在ぶりを発揮、チェコではコネクニイが8点をマークした。

ルーマニア	10	(7) 5 5	10	チェコ
ルーマニア	12	(6) 6 1 5	11	チェコ

ミカドハンドボール

TRADE MARK

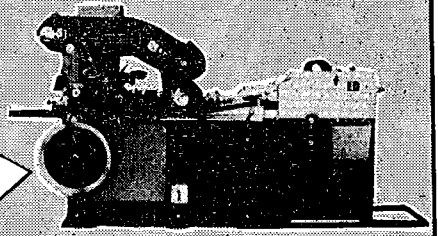


日本ハンドボール協会公認球



ミカド商会

東京・豊島・巣鴨・7丁目1696  
 TEL (941) 2635・6592



高性能機パーフェクトのほかにも  
たくさんすぐれた印刷機材があります

## 印刷機械

●パーフェクト(全自動B四裁凸版印刷機) ●各種断裁機

## 材料

●引戸式ケース馬 ●スチール製和文植字台 ●パテントゲラ棚…など多種

## 母型 活字 写真製版



### 千代田印刷機製造株式会社

本社 東京都千代田区神田猿樂町1の4 電話(03)(292)2011代~8  
横浜支社 横浜市西区高島2丁目10番20号 電話(045)(441)6782代~4  
福岡支社 福岡市御供所町3番36号 電話(092)(28)3960・0153  
千葉支社 千葉市市場通り122 電話(0472)(27)6463・(22)3979  
立川工場 昭島市東町1丁目1番5号 電話(0425)(23)3471~3  
九州工場 佐賀県小城郡牛津町 電話(95207)0072

# 福岡は西南、愛知は名城大勝つ

第5回福岡県8大学秋季リーグ戦はこのほど福岡・西南学院球場で行われ、西南学院が岩原、牧目野、近藤らの速攻とGK高田の堅守で勝ち星を重ね全勝優勝した。

福岡大 14-10 久留米工短大  
東海 14-11 九州大  
福岡教大 24-6 久留米工短大  
西南学院 14-11 九州産大  
福岡大 21-12 福岡工大  
福岡教大 17-6 福岡工大  
久留米工短大 22-7 九州産大  
西南学院 18-6 東海  
九州産大 18-9 九州大  
西南学院 14-9 福岡工大  
福岡教大 23-7 東海  
九州産大 25-11 久留米工短大  
福岡工大 20-14 東海  
九州産大 31-12 九州大  
福岡大 26-11 東海  
西南学院 11-8 福岡大  
福岡教大 24-8 久留米工短大  
西南学院 12-10 九州大  
福岡工大 22-8 東海  
九州産大 15-7 九州大  
久留米工短大 13-12 東海  
西南学院 13-8 福岡教大  
九州産大 14-12 福岡工大  
西南学院 14-6 福岡工大

## 中京の12連勝成らず

第12回愛知学生選手権は12月4日から8日まで名古屋市の体育館、男子9校16チーム、女子3校4チームが参加して行われた。男子は準決勝で12連勝を狙う中京が名城の鋭い攻撃に敗れ、結局名城が初優勝、女子は中京が中京女二チームを連破して4年連続5度目の優勝を飾った。

福岡大 14-10 久留米工短大  
東海 14-11 九州大  
福岡教大 24-6 久留米工短大  
西南学院 14-11 九州産大  
福岡大 21-12 福岡工大  
福岡教大 17-6 福岡工大  
久留米工短大 22-7 九州産大  
西南学院 18-6 東海  
九州産大 18-9 九州大  
西南学院 14-9 福岡工大  
福岡教大 23-7 東海  
九州産大 25-11 久留米工短大  
福岡工大 20-14 東海  
九州産大 31-12 九州大  
福岡大 26-11 東海  
西南学院 11-8 福岡大  
福岡教大 24-8 久留米工短大  
西南学院 12-10 九州大  
福岡工大 22-8 東海  
九州産大 15-7 九州大  
久留米工短大 13-12 東海  
西南学院 13-8 福岡教大  
九州産大 14-12 福岡工大  
西南学院 14-6 福岡工大

▽同準決勝

名城 B 9 (6-1) 6 名大

名城 12 (6-3) 11 中京

▽同3位決定戦

中京 18-8 名大

▽同決勝

名城 12 (6-1) 8 名城 B

▽女子1回戦(準決勝)

中京 5 (1-1) 3 中京女

中京女 B 13 (6-1) 4 愛知教大

▽同3位決定戦

中京女 10-6 愛知教大

▽同決勝

中京 10 (5-1) 4 中京女 B

0 1 5  
1 0 5  
0 0 9

▽交歓試合(女子)

愛知教員ク 7(分) 7 中京女大

九州産大、福岡教大降す

▽福岡県学生新人戦(11月・東海大体育館)

▽準々決勝

九州産大 19-7 九州大

福岡大 15-8 西南学院

久留米工大 16-7 福岡工大

福岡教大 16-5 東海

福岡大 20-13 久留米工大

## 各地の記録

北海道大が2連勝  
女子は室蘭クが優勝

第11回全北海道室内選手権は12月25、26日の2日間札幌市の中島スポーツセンターに男子12、女子4チームを集めてトーナメントで行われた。

男子は準決勝の北大×函館有斗OBが、事実上の決勝"といわれ、にふさわしい激戦となり、わずかにスピードに優る学生1位の北大がクラブチャンピオン・函館有斗OBに押し勝ち、決勝でも室蘭クに快勝、2年連続3度目の優勝をとげた。

女子は室蘭クが攻守に一日の長を示し勝った。

▽男子1回戦  
北見工OB 葉権 室蘭工大  
北海道大 24-8 青紫ク  
カルルス・ク 葉権 小樽商大  
エルム・ク 14-13 室蘭東OB  
▽同準々決勝  
室蘭ク 16 (1-1) 15 エルム・ク  
函館有斗 20 (11-2) 10 北見工OB  
OB 11 (9-2) 10 北見工OB  
北海道大 17 (10-5) 11 紋別ク

トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン. コロナ. ピックアップ. ライトバン製作



# セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号

TEL 相模原 (0427) 72-6111 (大代表)

加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM



函館大谷 26 (12|14|5) 12 カルルス  
 同準決勝

北海道大 15 ( ) 13 函館有斗  
 室蘭ク 13 ( ) 12 函館大谷

同決勝  
 北海道大 23 (13|20|5) 9 室蘭ク  
 女子1回戦(同準決勝)

函館選抜 19 (10|9|1) 2 紋別北高  
 室蘭ク 7 ( ) 4 室蘭OG

同決勝  
 室蘭ク 9 (5|4|1) 4 函館選抜

昭和46年度全北海道高校男子新  
 人戦(12月・札幌)  
 1回戦(3試合)

紋別北 23-3 札幌月寒  
 札幌商 葉権 北見工  
 室蘭工 19-6 札幌啓成

同準決勝  
 函館有斗 7-5 紋別北  
 室蘭工 17-5 札幌商

同決勝  
 函館有斗 7 (3|3|3) 6 室蘭工

中頭、那覇商OB制す  
 第2回沖繩選抜大会(11月・沖繩工)

男子1回戦(1試合)

琉球大 12-6 国頭  
 同準決勝

中頭 15-10 沖繩大  
 那覇商OB 17-13 琉球大  
 同決勝

中頭 20 (12|8|10) 2 那覇商O  
 女子決勝  
 中頭 18 (8|10|2) 2 東女体大  
 高校男子決勝  
 沖繩 21 (11|10) 15 北農  
 同女子決勝  
 小 10 (2|2|3) 5 浦添

日本発条が3戦全勝  
 神奈川県実業団リーグ(12月・横浜)

日本発条 17-13 日進商會  
 セントラ 19-15 日本鋼管  
 日本発条 21-13 日本鋼管  
 セントラ 20-10 日進商會  
 ル自動車 16-11 日進商會  
 日本鋼管 16-12 セントラ  
 日本発条 16-12 ル自動車

順位①日本発条②セントラル自  
 動車③日本鋼管④日進商會

三部18クラブが参加  
 第12回愛知クラブリーグ(11月・名古屋)

1部  
 愛教ク 11(分)11 桜丘會

名城ク 24-13 名大ク  
 大江ク 16-12 愛教ク  
 桜丘會 18-10 大江ク  
 桜丘會 25-14 名大ク  
 名城ク 24-13 東山ク  
 桜丘會 26-19 東山ク  
 名城ク 28-12 大江ク  
 愛教ク 18(分)18 名大ク  
 東山ク 20-12 大江ク  
 愛教ク 20-10 東山ク  
 大江ク 24-12 名大ク  
 名城ク 20-14 桜丘會  
 東山ク 19-18 名大ク  
 愛教ク 13-12 名城ク

順位①名城ク4勝1敗②桜丘會  
 3勝1敗1分③愛教ク2勝1敗2  
 分④東山ク・大江ク2勝3敗⑥名  
 大ク4敗1分

2部順位①東海ク4勝1分②南  
 山ク4勝1敗③桜丘會B④佐織ク  
 ⑤愛商ク⑥中川ク

3部順位①愛工ク②東海クB③  
 松蔭ク④昭和ク⑤一宮ク⑥若松ク

日本ビクター賞録勝ち  
 第21回茨城県総合(女子)選手  
 権(11月・水海道二高)

準々決勝  
 水海道二OG 14-4 西峰ク  
 水海道二高 10-6 茨城大  
 水海道二高 8-5 太田二高  
 日本ビクター 17-8 八郷高

準決勝  
 水海道二高 11-8 水海道二OG  
 鉦田二高

日本ビクター21-3 水海道二高  
 同決勝  
 日本ビク 28 (15|13|1) 4 鉦田二高  
 (注)男子の記録は前号既報

新居浜工、強味示す  
 愛媛県高校新人大会(11月・今治)

男子準々決勝  
 新居浜工 12-2 松山北  
 松山東 13-4 松山南  
 今治西 15-8 新田  
 松山工 19-7 今治南

同準決勝  
 新居浜工 5-4 松山東  
 松山工 18-4 今治西

同決勝  
 新居浜工 7 (3|4|3) 6 松山工

女子準々決勝  
 松山商 8-3 新居浜東  
 新居浜商 12-1 今治南  
 東温 13-4 西条  
 土居 17-0 今治西

同準決勝  
 松山商 7-4 新居浜商  
 土居 8-2 東温

同決勝  
 土居 6 (3|3|0) 2 松山商

お詫び  
 93号、編集部の手違  
 いから、ペアー株式  
 会社の広告が脱落しておりまし  
 た。お詫び申し上げます

後記

遅ればせながら、おめ  
 とうございませう。本年  
 もどうぞよろしく。  
 本年も様々なことが多  
 一年でした。  
 懸案・難問が山積して  
 いるハンドボール界です  
 その一端はポスト・アジ  
 ア予選という形でとりあ  
 げました。これのなかでどの一つ  
 をとって、すこぶる難問です。  
 ハンドボール協会の執行部がいい  
 意味でのリーダーシップをとらな  
 ければならないのはいうまでもな  
 いことですが、盛りあがる力がな  
 ければどうなるものでもないこと  
 ばかりです。

ミュンヘン、底辺拡充、女子問  
 題、日本リーグ等々山積するの  
 は難問ばかりです。  
 編集部でも、それらに少しでも  
 役立ちたいと考えています。  
 ポストアジア予選でとりあげた  
 問題について、ほかのいかなる問  
 題でも、どしどし投稿が欲しいと  
 ころです。

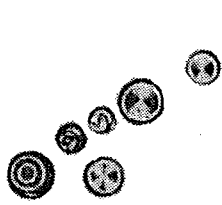
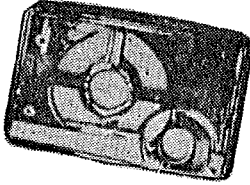
特に「底辺拡充策」について積  
 極的、具体的提言をどんどん寄稿  
 していただきたいと考えます。  
 「底辺拡充策」盛りあがる力なく  
 しては解決できない最大の問題で  
 す。投稿・寄稿で体験、提言を本  
 誌で多くの人々に紹介していきたい  
 と考えています。よろしく

(T)

プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……

……ありません!



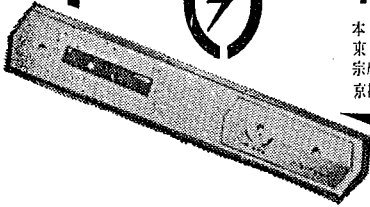
精密金型設計・製作

マイクロプラスチック成型

プラスチックメッキ

## 株式会社 宗形製作所

本社	大阪府高槻市辻子241番地	TEL 高槻 (0726) 75-5551
東北本	社 福島県福島市清水町字中谷地48番地	TEL 福島 (02452) 3-2812・2911
宗形工業化学株式会社	大阪府高槻市辻子252番地の1	TEL 高槻 (0726) 75-5767~8
京都金型製作株式会社	京都市南区上鳥羽花名町19番地	TEL 京都 (075) 68-9701



競技専用は

# 《タイガーハンド》だけ!

みごとなプレーを  
展開してください。

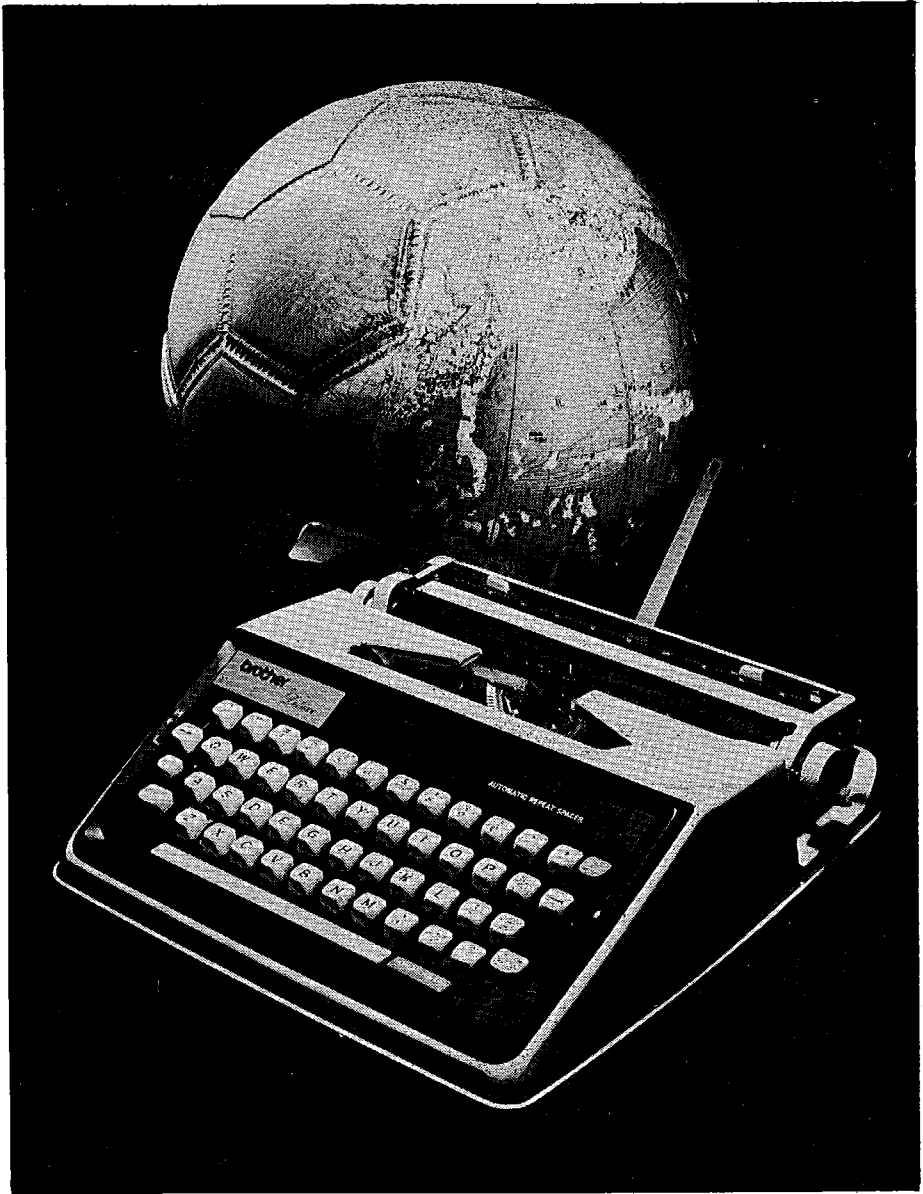


**Onitsuka**  
**Tiger**

## タイガー ハンドボールシューズ

オニツカ株式会社 神戸・大阪・名古屋・東京・札幌

革/¥5,200  
布/¥1,300



世界じゅうのタイプライターの  
うち、10台に1台はブラザー製  
110カ国に輸出されています。



ブラザー工業株式会社  
ブラザーマシン販売株式会社  
本社 名古屋市瑞穂区堀田通9の35  
TEL 大代表 (811) 2511

スポーツに国境がないように  
世界で愛されるブラザータイプライター

日本ハンドボール協会編  
『ハンドボール』

第九十四号

昭和四十年六月七日  
第三種郵便物認可

昭和四十七年一月二十五日印刷 発行所  
昭和四十七年二月一日発行 日本ハンドボール協会

東京 各区分南一丁目  
電話 大代表 (811) 2511  
振替東京五八三四八番

編集兼 保坂周助  
発行人

定価 百五十円  
年間購読 千二百円  
11回